

フォトライフ

四季

カメラのキタムラ フォト ネットワーク
〒222-0033 横浜市港北区新横浜2-4-1
☎ 045-476-0777
平成10年9月1日発行
季刊第26号
キタムラホームページ
<http://www.kitamura.co.jp>

カメラの
キタムラ®

vol.26
AUTUMN

特集 写真家・竹内敏信氏

自分の生き方が風景と接したときに、
風景写真の表現が成立する。

特集 ●ライカの世界

奥深い味わいがカメラファンを引きつけてやまないライカ
～田中長徳氏に聞くライカの魅力～

保存版 中古カメラ特集

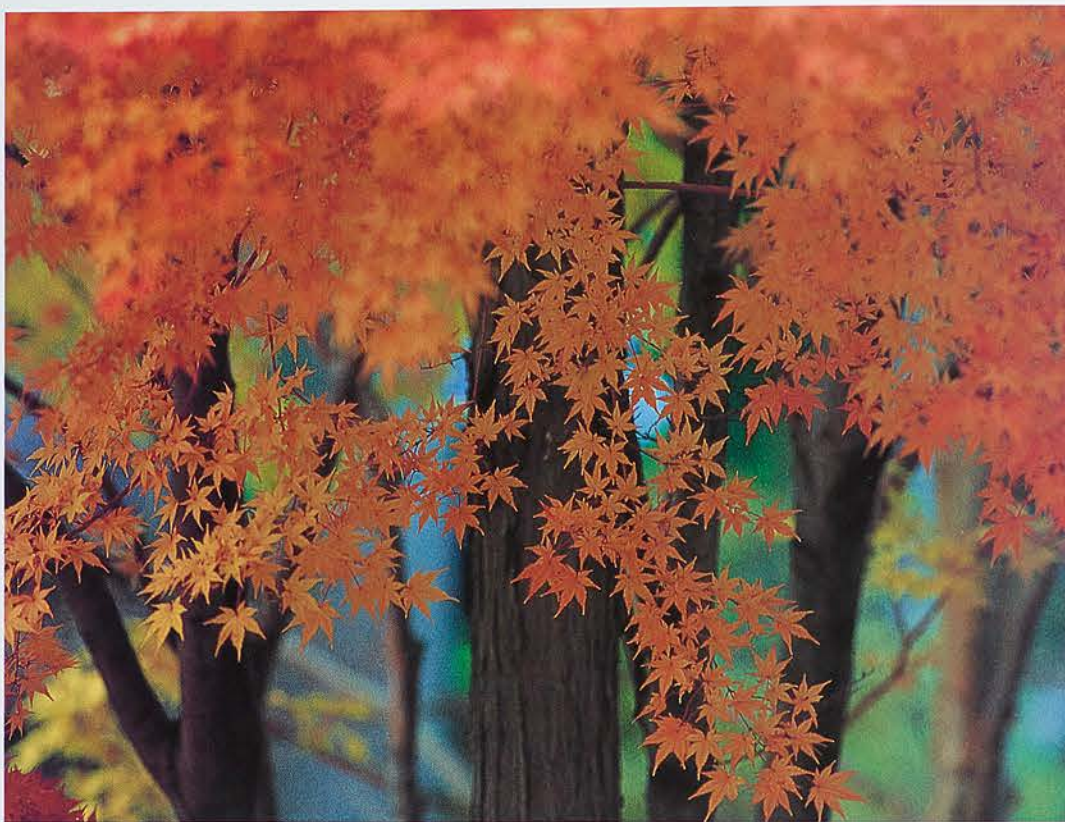
標高約2000mの吾妻連邦の中腹の秋。雨が止み、樹間に霧が立ちのぼりはじめた。ロングの山腹だが、落葉広葉樹の多彩な色合いが、日本の秋を見事に演出してくれている。(山形県米沢市で)

■カメラ：キヤノンEOS-1n レンズ：EF70-200mm
F2.8L シャッタースピード：1/30秒 AE フィルム：
RVP PLフィルター・三脚使用 (撮影) 竹内敏信氏



フォトライフ
四季

CONTENTS
Vol. 26
AUTUMN



日本列島にカエデの木々があり、この樹種が多いことで、随分と列島の秋の風景が鮮やかになった。真紅に染まるもの、黄色いものなど実に多様で美しい。カエデの枝を、300mmの望遠を使って形を抽出したもの。(栃木県塩原町)
■カメラ：キヤノンEOS-1 レンズ：EF300mm F2.8L シャッタースピード：1/60秒 AE フィルム：RVP PLフィルター・三脚使用 (撮影) 竹内敏信氏

特集 写真家・竹内敏信氏

**自分の生き方が風景と接したときに、
風景写真の表現が成立する。**.....2

キタムラがお薦めする「秋の彩」撮影ワンポイント.....10

特集●ライカの世界

奥深い味わいがカメラファンを引きつけてやまないライカ

～田中長徳氏に聞くライカの魅力～.....15

写真おもしろヒストリー⑱

レンズ物語 後編 **レンズは学問と技術の集大成**.....19

新・メーカー探訪 現代銘品カメラ列伝⑤

オリンパス CAMEDIA C-1400L、C-840L 編.....20

保存版 中古カメラ特集.....27

次ページ (P2・3) の写真解説

カエデの色合いを巧く引き出すには、順光の場合はPLフィルターを使って、葉の表面反射を除去する。逆光の場合は多少プラス側に露出補正して、葉を通した光の色合いを捕らえる。(長野県鬼無里村)

■カメラ：ペンタックス645 レンズ：SMCペンタックス645 80-160mm F4.5 絞り：f22 AE フィルム：RVP 三脚使用 (撮影) 竹内敏信氏

第6回「全国春の花フォトコンテスト」入賞作品発表.....24

読者のページ フォトライフ四季 ふれあい広場.....32

プレゼントが当たる！クロスワードパズル.....32

編集後記.....32

MINOLTA



私は、スウィート。



Sweet

ママの瞳の一眼レフ。

ママへ。ここがおすすめ。

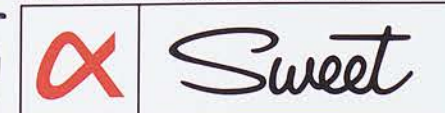
- ファインダーをのぞくだけでピントが合う「アイスタート」。子供の“一瞬”を逃しません。
- シャッターを押すだけで、プロ級の写真。あなたの子供がアイドルになります。

パパへ。ここがおすすめ。

- <2コマ/秒の高速連写>や<1+1型の3点ワイドAF>、<露出ブラケット撮影>、<カスタム設定> <金属マウント>など的高機能満載です。

新・登・場

やさしく、軽い。世界最小*一眼。希望小売価格(税別)



αスウィート AFズーム28-80mmF3.5-5.6 II シルバー付¥92,000

αスウィート ボディ¥67,000

AFズーム28-80mmF3.5-5.6 II シルバー¥25,000

カメラケースCH-100¥4,500

*幅・高さ・奥行がいずれも世界最小。35mmレンズ交換式フラッシュ内蔵AF一眼レフカメラにおいて。1998年4月1日現在。
■詳しいカタログを差し上げます。(住所・氏名・年齢・機種名記入)〒108-8618 東京都港区高輪2-19-13 NS高輪ビル ミノルタ販売株式会社 フォトライフ四季係
●αシステムのお問い合わせフリーダイヤル ☎0120-493-881 ●お客様商品相談窓口 ☎(03)5423-7555 ☎(06)271-2641



自分の生き方が風景と接したときに、風景写真の表現が成立する。

作品造りを意識されている皆さんなら、自分の写真にオリジナリティがほしいと思っただけではないでしょうか。フォトコンテストに応募しようと思える皆さんなら、なおさらのことと想像されます。では、どうしたら風景写真にオリジナリティを与えることができるのでしょうか。今回カメラのキタムラでは、皆様のオリジナルな創作活動のヒントになればと、「全国秋の彩フォトコンテスト」の審査を控えた竹内敏信先生に、先生の自然観や写真感とともに、プロのオリジナリティの創造の秘密をお伺いしました。あわせて次回の「第7回全国秋の彩フォトコンテスト」に応募される方へのアドバイスやメッセージもお伺いいたしましたので、ご参考にしていただければ幸いです。

※なお、表紙及び特集ページに掲載した写真は、すべて竹内氏の作品です。

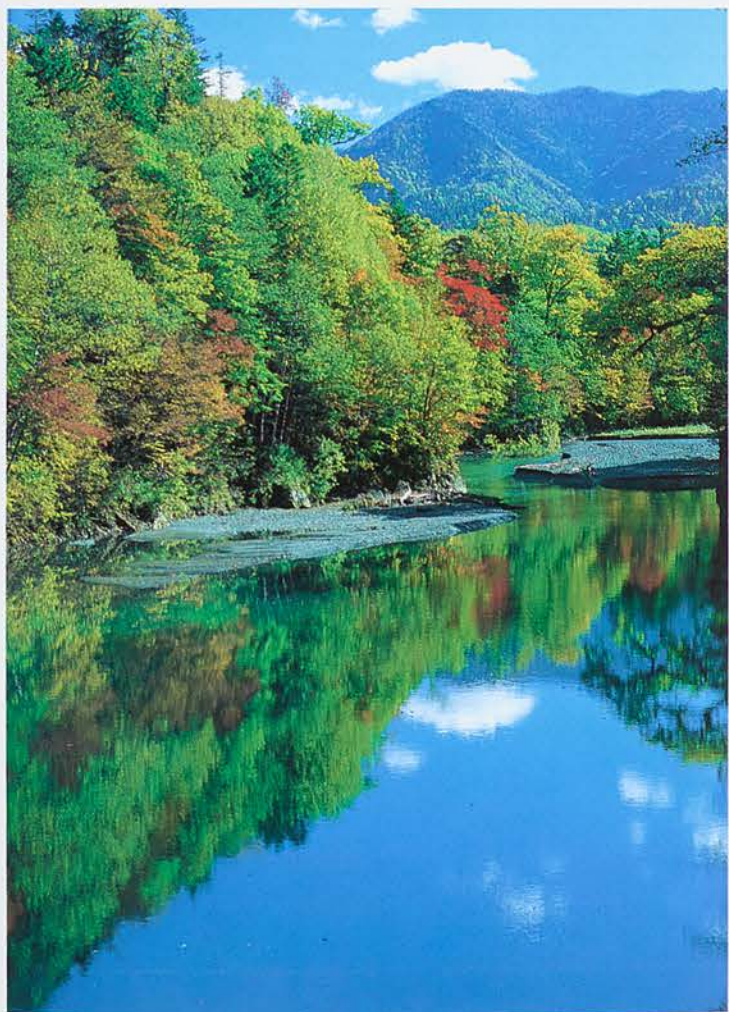


紅葉撮影の醍醐味はロングから、このようなクローズアップまで、多彩なバリエーションが楽しめることにある。いい色合い、いい形を見つけて、積極的にアップの紅葉を撮ってみよう。(長野県飯田市)

■カメラ：キヤノンEOS-1 レンズ：タムロン90mm F2.5 マクロ シャッタースピード：1/90秒 AE フィルム：RVP PLフィルター使用 手持ち撮影



晩秋の八甲田山のブナ林。木の葉は既に散ってしまっているが、すきと天空目指して伸びている木々に、秋の風情が感じられる。紅葉が終わっても被写体は豊富である。青森県八甲田山山腹



北海道の紅葉は早い。これは十勝平野の奥、新得町のトムラウシの紅葉。美しい渓流と岸辺の木々との対比が見事である。(北海道新得町)

■カメラ：ペンタックス645 レンズ：SMCペンタックス645 80-160mm F4.5 絞り：f22 AE フィルム：RVP 三脚使用



たけうち としのぶ
1943年愛知県生まれ。名城大学理工学部卒業。愛知県庁勤務を経てフリーとなり、風景写真の第一人者として活躍。主な写真集：『天地光響』（講談社）、『歐羅巴』（小学館）、『花祭』（成文堂新光社）、『光と風のヨーロッパ』（玄光社）、『写真・山頭火』（春陽堂）、『櫻』『天地風韻』『山櫻』（以上出版芸術社）、『竹内敏信集』（新日本企画）、『天地風韻』（日本芸術出版社）など。著書・ビデオ・CD-ROMも多数出版。



この滝は有名な「白糸の滝」の脇にある「音止め滝」。滝は最もフォトジェニックな存在で、シャッタースピードにより、変化が着けられる。これは低速シャッターで水をブラして撮ったもの。(静岡県富士見市 音止め滝)

■カメラ：キヤノンEOS-1 レンズ：EF80-200mm F2.8L シャッタースピード：1/4秒 AE フィルム：RVP PLフィルター・三脚使用

風景写真のオリジナリティには、テーマ性が重要。

風景写真でもプロの先生の前には、当然のことながらオリジナリティがありま。他のどの写真家が撮った作品でもなく、その先生独自の風景写真、見てすぐにそれとわかるオリジナリティがあるわけですが、アマチュアの場合ですと、自分の写真にオリジナリティを出す方法がわからない方が多いと思うのです。

竹内先生の風景写真には特にオリジナリティが強くうかがえるわけですが、竹内先生自身は先生の作品のオリジナリティをどのような点に求めておられるのですか。

私の風景写真のオリジナリティは、まず技術的な問題で言うと、基本が35mmの機動



秋といえば紅葉、秋空、そしてススキというように、秋風にゆれるススキの穂波を撮ってみたい。逆光のライティング、背景を整理して望遠レンズで穂を重ねて撮るのが秘訣。(福島県塩原町)

■カメラ：キヤノンEOS-1 レンズ：EF300mm F2.8L シャッタースピード：1/60秒 AE フィルム：RVP PLフィルター・三脚使用

力を活かした風景写真を撮っているということ。それはいい場所があって、それを写真に写しとるといふ風景写真ではなく、その時その時の自分の気持ち、あるいは自分の生き方を風景写真を通して表現しているんです。ですから、自分の生き方に応じた風景に出会ったときに、はじめて作品が成立する。自分個人の感情や生き方が風景と接したときに、どういう表現が成立してくるのかということを追求している、それが私の風景写真なんです。

以前は風景写真というのは大型カメラを使って撮られていました。しかし私のように、自分の生き方を自然の風景を通して表現する、つまり自然観を表現するということになる、サイズの問題ではなく、長い歴史を通じて、自分の生き方や感情を素材にたくして表現し続けてきた伝統があるんです。たとえば俳句でも、自分の感情を風景にたくしてうたっている。そうした日本の伝統的な表現方法を写真で引き継いでいくには、機動力があり、レンズワークが多彩に使える、自分の気持ちの動きに応じて風景を切り取っていきける35mmの方が有利なんです。

しかし35mmだけに捕らわれていたのでは写真表現の幅が狭くなる。ですから中判の6×7や大判の4×5まで使います。それぞれのカメラの機能に応じた表現が当然あるので、それに応じて自分の表現の幅を広げているんです。

私の写真のオリジナリティで重要な点は、もう一つ、テーマ性があります。私は単に風景がきれいだから撮っているわけではありませ

民族の風土と人間のかかわりあいを、風景写真を通して見届けてゆく。 それが私の風景写真です。

日本の風景というものは、すべて日本人の原風景なんです。日本人が日本列島の中に住んで、日本の風景をどのような気持ちで眺めてきたか、あるいはどういう形で表してきたか、どういうふうに関わり合ってきたか。それを写真を通して見届けたい。私はその日本人の原風景を追求するために写真撮っているんです。

それを追求してゆくうちに、日本と同じように、それぞれの民族がそれぞれの歴史の中で生み出してきた風景があるのではないかと思うようになりました。ではヨーロッパの人はどのような風景を生み出してきたのだろうか。それをヨーロッパで見届けてみようと思っただけで、私の

ヨーロッパのシリーズです。

また、少し前にアメリカにも行ってきましたが、やはり民族が生み出してきた固有の風景がある。もちろんロッキーやアフリカといった大自然の風景というものは、人間が介在する以前の、もっと長い地球の歴史の中で成り立ってきた風景ですが、今日、人間がどのような形でそうした風景にかかわっているのかということを見届けたい。これは別な言い方をすれば、人間と風土がどのように結びついているのか、という発想なんです。ですから日本の、あるいはヨーロッパやアメリカ大陸の風土と人間を、写真を通して見届けていきたいんです。

アマチュアの方に、自分の風景写真にオリジナリティを生み出すヒントやアドバイスがあったら教えてください。

自分のよく知っている場所、あるいは親しみの持てる場所を撮るといいと思います。自分の生活エリア、あるいは生活エリアでなくても、人に教えられた場所ではなく、自分が興味がある場所、前に行って非常に感激した場所などを対象として選び、素材を探すがオリジナリティにつながっていくと思います。

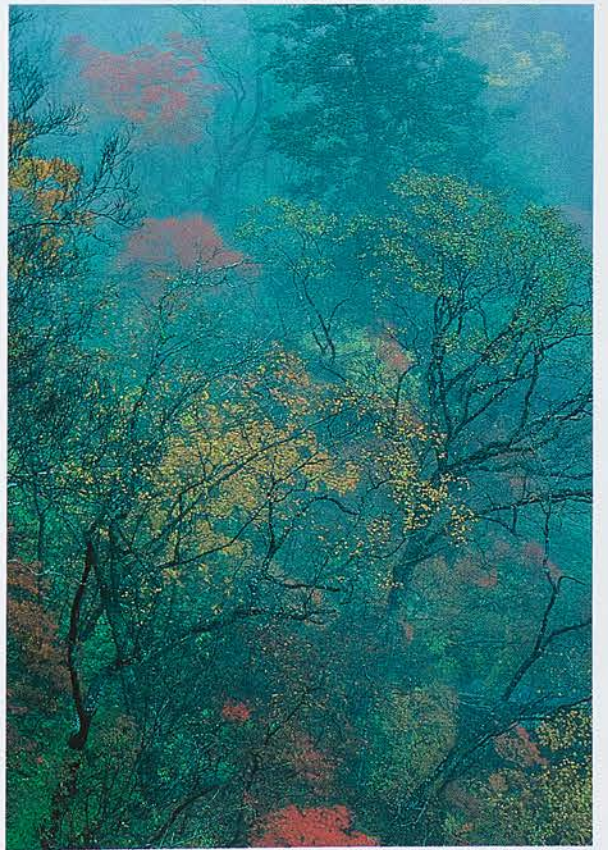
自分の得意なものを撮り続けてゆく。それがテーマを持つ第一歩。

テーマを持って撮影すること、もう少し詳しく教えてください。

自分の得意なものを撮り続けるということなんです。それにタイトルをつけたり、筋道を立てたりするとテーマになるんです。その得意なものは素材であつてもいいんです。花でもいいし木でもいい。あるいは地域でもいい。そういうものを集中的に撮り続けていくことで、自分なりの写真が揃っていくんです。それが揃ったときに、はじめてテーマになる。当初から、ある程度目標を持って、自分はこれが好きだから、こういうものをもう少し撮ってみようと思うようになれば、これは明らかにテーマです。



東京の新宿御苑は都心にありながら自然の雰囲気がある。豊かな木々が植えられていて、この木々の紅葉もなかなか味わいがある。これは桜木の落葉。(東京都新宿御苑)
■カメラ：キヤノンEOS-1 レンズ：EF28-80mm F2.8~4L シャッター速度：1/20秒 AE フィルム：RVP PLフィルター・三脚使用



橋の上から山腹の紅葉を撮る。画面のポイントになるような樹を探して構図を整える。ポイントに使えるのは鮮やかなもの、形のいいものなど。ポイントに応じてフレーミングを変えていく。(栃木県日光市)
■カメラ：キヤノンEOS-1 レンズ：EF80-200mm F2.8L シャッター速度：1/60秒 AE フィルム：RVP PLフィルター・三脚使用



日本で一番早く紅葉するのが、北海道の山々。これは大雪山の紅葉。北の国では、この時期に降雪が伴うことも多く、このようなチャンスを生かして自分の作品を生み出したいものだ。(北海道大雪山)
■カメラ：キヤノンEOS-1 レンズ：EF28-80mm F2.8~4L シャッター速度：1/60秒 AE フィルム：RVP PLフィルター・三脚使用

日本列島では、至る所で紅葉が見られる。落葉広葉樹があるところならば、たいていの葉は美しく紅葉してくれる。そのチャンスを見計らって自分の作品としていくのである。(長野県妙高高原)
■カメラ：キヤノンEOS-1 レンズ：EF80-200mm F2.8L シャッター速度：1/60秒 AE フィルム：RVP PLフィルター・三脚使用



写真はそのくらいの積極性があつた方がいいんです。対象を探すのに意味もなく、目的もなく探したのでは、むこうも応えてくれません。探すにあたって、一つの目的やイメージがあつて、そのイメージに沿って風景を撮ってゆくということが、自分のテーマを撮り続けていくことになるんです。

自然に対して、もっと謙虚になつてほしい。

最近風景写真を撮る方たちのマナーが悪くなっているのではないかと、という声も聞かれますが、先生はこの点についてどう思っておられますか。

風景写真を撮る方は、自分の楽しみだけで撮っていると思つてはいけません。撮らせていただいているんだという有り難さを感じてほしい。日本に住んでいる私たちは細やかな樹林に囲まれて、四季の変化が顕著で、それぞれの美を眺めることができます。こんな民族は世界中にいません。日本だけなんです。そういう意味では、日本人は世界的に貴重な財産を預かっているんです。そのことに対する自覚が日本人には少なすぎると思います。

そうした日本に住んで、その紅葉を撮らせていただくという有り難さを感じていれば、自ずとマナーもよくなつてくるはずなんです。



明け方、朝日を撮りに行った。背後の空には満月が浮いていた。日の出はそっけなく月を照準を合わせて撮った。日が昇るに従って、月は落ちていく。樹林を生かして月を撮ったもの。(長野県信濃町)
■カメラ：キヤノンEOS-1 レンズ：EF300mm F2.8L シャッター速度：1/30秒 AEマイナス2/3補正 フィルム：RVP PLフィルター・三脚使用

秋は過水期になり、河川や谷川の水は少なくなっていく。つまり滝が枯れるわけであるが、筋のようになった滝の上に、ハラハラと落ち葉が乗って、秋らしい滝となっている。(北海道新得町)
■カメラ：キヤノンEOS-1n レンズ：EF28-70mm F2.8L シャッター速度：1/2秒 AE フィルム：RVP PLフィルター・三脚使用



なってほしいですね。

最後に竹内先生からカメラのキタムラに、あるいはキタムラのフォトコンに対して何かコメントをいただければ幸いです。

カメラのキタムラは購入しやすい値段で全国展開をされていて、社会的に意味がある企業だと思います。また写真コンテストをやりながら、写真を撮ることの意味、面白さ、価値などを消費者に伝え続けている、そうした姿勢が評価できると思います。地域の人たちの生き方や文化性に密接に結びついているのが写真業界ですから、そうしたコンテストなどの活動から、その時代の



ハラハラと地表に舞い降りてきた枯れ葉。まもなくこの上に、白い冬将軍が舞い降りてきて、厚く積み重なっていく。枯れ葉が雪に覆い尽くされる寸前の、晩秋の山肌である。(福島県猪苗代町)
■カメラ：キヤノンEOS-1n レンズ：EF17.35mm F2.8L シャッタースピード：1/15秒 AE フィルム：RVP PLフィルター使用 手持ち撮影

▼同じ樹でも、紅葉は年によって彩りが異なってくる。この年は、なかなかの色合いであった。葉の形が良く、紅葉が美しい場合は迷わずクローズアップしてみよう。(長野県栄村)
■カメラ：ペンタックスZ-1P レンズ：SMCペンタックスFA 70-200mm F2.8ED 絞り：f16 AE フィルム：RVP 三脚使用



ススキが風になびいている。ススキの穂が同一方向に揃った時にシャッターを押す。つまり穂波を撮った方が、一般的には美しく感じられるからである。これは原則で意図があれば、どのような穂波でも自由であるが。(宮城県仙台市)
■カメラ：ミノルタα807si レンズ：ミノルタFAマテレ300mm F2.8G シャッタースピード：1/60秒 AE フィルム：RVP PLフィルター・三脚使用



日本人は日本の恵まれた自然という、世界的に貴重な財産を預かっている。そのことに対する自覚が足りないと思う。

カメラのキタムラ 「第7回全国秋の彩フォトコンテスト」

「秋の風景」ということを考えてほしいですね。秋イコール紅葉だと単純に思わないでほしい。日本人の感性というもの、もっと細かく深いところまで季節の移行を読みとれる能力を持っていますから、初秋の頃、夏の終わりや初冬にまで視野を広げて、秋の風景を探してほしいですね。日が暮れた寂しい風景も



「全国秋の彩フォトコンテスト」審査風景

秋の風景ですし、晩秋の落ち葉がすべて落ちてしまった禿げ山を木枯らしが吹いている。それも秋の風景です。日本人が秋の自然の中で培ってきた気持ちを風景写真の中で表現してほしい。もちろん美しい紅葉は日本の秋の特徴なので、紅葉を捉えていくのは大事なことです。それだけが秋ではないです。風土が合わせ持っている意味を写真で感じ取れるような、味わいのある作品を期待したいですね。

それと審査して思うのは技術的な問題です。せっかくのアイデアがカメラブレのような表現技術の稚拙さによって充分活かされていない例が多いんです。やはり三脚は使用してほしいですね。またネガカラー部門ではプリントで損をされている応募者が多いんです。プリントの段階でもっときびしくチェックしてほしい。ネガカラーのプリントは本来はもっといい色合いが出るはずなんです。

それと、特殊な意図がないかぎり、できるだけ低感度フィルムを使用してください。ネガカラーでしたらISO100、リバーサルの場合はISO50〜100を使用する方がいいと思います。低感度フィルムは画質も色合いもいいので、それを使ってよりデリケートな描写を目指してほしいです。

カメラのキタムラ 「第7回全国秋の彩フォトコンテスト」作品募集のお知らせ

「年々応募作品のレベルが着実にアップしている」と審査員の竹内敏信先生からもご好評をいただいているキタムラ「全国秋の彩フォトコンテスト」。今回も紅葉をはじめ、日本の「秋の彩」を表現した作品なら何でもOKですので、皆さんの傑作・力作をふるってご応募ください。※詳しくは、9月上旬よりカメラのキタムラ店頭に設置される応募用紙またはポスターをご覧ください。

賞金・賞品総額 500万円!



カメラのキタムラ「第7回全国秋の彩 フォトコンテスト」作品大募集!!

賞金総額500万円!

今年もキタムラ「全国秋の彩フォトコンテスト」を開催いたします。紅葉をはじめ、あなたの見つけた日本の「秋の彩」を大募集。傑作・力作をふるってご応募ください。
※詳しくは、9月上旬よりカメラのキタムラ店頭に設置される応募用紙またはポスターをご覧ください。



7 ①佐藤 幸助様 ②新潟県北魚沼郡川口町木沢 ③11月上旬午前7時頃 ④霧の多い日が狙い目。霧のバランスをみながらの撮影になります。近辺には棚田も多く、紅葉以外の撮影場所も豊富。⑤JR上越線越後川口駅下車→小千谷・川口・大和線に沿って徒歩約70分




木沢小文



8 ①井口 正夫様 ②山梨県南アルプス北岳登山口、白鳳渓谷吊橋付近 ③10月10日前後午前6時頃 ④28~70mmで撮影。天候に左右されやすいので、その時の運次第。この時は天候に恵まれ、雲が湧き上がる瞬間を感動して撮影。PLで絞り込むのがポイント。⑤国道52号線→丸山林道→南アルプス街道→北岳登山口





11 ①関口 茂様 ②岐阜県高山市日下部民芸館付近 ③11月中旬 ④町中をスナップしている内の1枚。手ぶれを防ぐためにISO400を使用。⑤JR高山本線高山駅下車





10 ①松下 健二様 ②長野県戸隠村鏡池 ③10月中旬 午前6時 ④朝日が戸隠山に当たり唐松林に美しく輝きだした数分がチャンス。運がよければ池周辺に朝霧が立つ。⑤JR長野駅→長野電鉄バス戸隠高原行き→鏡池入口下車→徒歩約30分





9 ①杉田 富男様 ②岐阜県餓鬼山釣魚橋 ③9月下旬~10月上旬 朝夕 ④日帰りは無理。要防寒服及び登山装備。槍ヶ岳をはじめ北アルプスの大パノラマがのぞめる。要三脚。長い望遠より35mm~100mmで充分。⑤JR大糸線信濃常盤駅下車→白沢→餓鬼ヶ岳登山道へ徒歩7~8時間





3 ①田中 穂積様 ②秋田県阿仁町北東部 打当温泉より12km先の滝 ③10月上旬 午前10時まで、または午後3時より ④ピーカンドカラーバランスが崩れるため、紅葉に日が当たるか当たらないかといった視の加減がチャンス。高曇りが良い。水量に合わせてシャッタースピード1/2~1/30秒で調節する。三脚は必須。足元が悪く要トリッキングシューズ。⑤秋田新幹線角館駅→秋田内陸縦貫鉄道阿仁またき駅下車→タクシー約30分→安の滝園地→徒歩約40分





2 ①小畑 一弘様 ②岩手県松尾村松尾八幡平(熊沼) ③10月上旬 午前9時頃 ④沼を中心にしたフレーミングを心がければ切り取りは容易。PLで沼を真っ黒にしないで、空の雲を映し込むようにすると、空間的な広がりを想像させられる。⑤東北自動車道松尾八幡平アスピーテラインに沿ってバス約30分





1 ①溝口 敦様 ②北海道天人峡温泉羽衣の滝 ③10月上旬 撮影した時間は午前7時30分 ④平成9年10月13日に行き、前夜からの雪でまさかの銀世界。何回も滑り、カメラ操作も思うようにいかず、防寒具もなく、寒さ対策不足を痛感。⑤JR函館本線旭川駅→天人峡温泉行きバス→徒歩約600m





6 ①山川 進一様 ②栃木県日光華厳滝観瀑台 ③10月下旬 午前9時 ④観瀑のためのエレベーターからは紅葉を活かすポイントはない。建物外の西側観瀑からは滝との間に木立があって絶好の撮影場所になる。⑤JR日光線日光駅→中禅寺温泉行きバス→華厳の滝入口下車→徒歩約2分





5 ①中畑 俊雄様 ②福島市磐梯吾妻スカイライン浄土平湿原白樺林 ③10月中旬 午前9時~10時 ④スカイラインの道路沿いに被写体と、湿原をはさんで平坦地があるが、道路反対側の遊歩道の高い場所からの撮影もおもしろい。⑤JR福島駅→バス1時間20分→浄土平下車→土湯峠方向へ約10分





4 ①淀野 正実様 ②山形県吾妻スカイバレー(錦平) ③10月上旬 午前11時頃 ④気象の変化が激しく、長時間待つことも覚悟。撮影時には防寒具を忘れないこと、11月3~4日の連休後は降雪のため通行止めに。⑤JR山形新幹線米沢駅→白布(しらぶ)温泉行きバス→白布温泉下車→タクシー約10分





キタムラがお薦めする「秋の彩」撮影ポイント

ここにご紹介する撮影ポイントおよび写真は第6回(一部5回も含む)全国秋の彩フォトコンテストに入賞された方々にご協力いただいたものです。この紅葉と秋の景色(花)の撮影ポイントは毎年好評をいただいておりますので、今号は特別に4ページにわたって、入賞された方々に、撮影の場所ばかりではなく、そのポイントでの撮影アドバイスをうかがい、より内容を充実いたしました。説明中の番号は ①撮影者 ②撮影場所 ③撮影チャンスと時期 ④撮影アドバイス ⑤交通手段

※撮影時期はその年の天候に左右されますので、事前にご確認の上お出かけください。※掲載写真は昨年以前に撮影されたものです。現在は景観が変わっていることも考えられますので、ご了承ください。※撮影する場合はエチケットやマナーを守りましょう。特に撮影地の所有者や近隣に迷惑をかけないように注意しましょう。また、自然環境への配慮もお願いいたします。

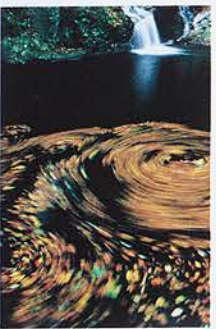
〈紅葉の部〉

<一般の部>

3 ①山口 清様 ②広島県宮島(紅葉谷) ③11月中旬 午前8時頃 ④撮影時間は午前中の方が光の具合が良い。レンズは中望遠の方が写しやすい。⑤JR山陽本線宮島口駅下車→船で宮島へ20分



2 ①宮崎 正秀様 ②三重県赤目四十八滝 荷担滝すく上 ③11月上旬 午前10時頃 ④滝つぼに舞う落ち葉をシャッター速度に注意して撮影。仕上がりが分からないため、シャッター速度を変えて何枚か撮る必要あり。⑤近鉄大阪線赤目駅→三重交通バス赤目滝下車→境川に沿って徒歩約1時間 10分



1 ①城所 實様 ②埼玉県吹上町荒川河川敷 ③10月中旬 午前5時頃 ④子供達、若者、家族連れなどのスナップはコスモスの中に数条走るS字の道を入れてねらいたい。早朝のコスモス群は花びらにつく水滴が朝日に光ります。田園地帯のため、朝日、夕日は堤防の上からがよいでしょう。⑤JR高崎線吹上駅下車→徒歩30~40分



6 ①百崎 礼治様 ②佐賀県富士町北山ダム ③9月中旬 午後2時~3時 ④夕方の斜光を狙いたい。4時を過ぎると杉林に太陽が隠れてしまう。彼岸花は農家が早く刈り取る時がある。⑤昭和バス→ダム入口 近隣に佐賀県「21世紀の森」がある



5 ①長尾 司様 ②福岡県田主丸町筑後川河川敷 筑後川橋より下流500m ③10月下旬~11月上旬 午前7時~9時または午後3時~5時 ④すすきが逆光で輝くアングルが良い。シャッタースピードのコントロールがポイント。⑤JR久大本線善導寺駅下車→タクシー10分~15分



4 ①増井 裕子様 ②高知県大豊町八畝 ③10月中旬 午前10時くらいまで ④できるだけ早い時間に現地入りをしてチャンス待ち。前夜の雨で雲に恵まれたが、8時半には消えていた。畦を壊したりしないように注意。田の中程に神様が祀られていて、10月10日に神事があるとのこと。⑤高知自動車道大豊IC→32号線左折→長瀬橋から439号線→梶ヶ森方面→八畝



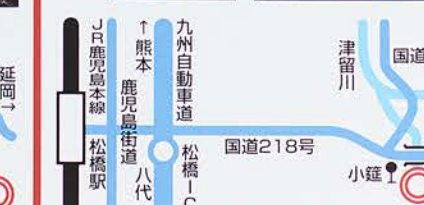
7 ①山口 芳明様 ②長崎県佐世保市三川内 ③9月下旬 午前7時~9時頃 ④例年9月20日~23日頃が彼岸花の開花時期だが、あらかじめ確認が必要。彼岸花の赤と稲穂の黄金色とのコントラストが素晴らしい。⑤JR佐世保線三河内駅下車→徒歩5分



17 ①宮崎 啓一様 ②宮崎県五ヶ瀬町白滝 ③11月上旬 午後2時前後 ④場所から足場が悪いため、広角よりも標準以上で切り取った方がよい。午前中は陽がささない。⑤九州自動車道御船IC→218号線延岡方面→馬見原265号線椎原→渡瀬集落→徒歩30分~40分(標高約900m)



16 ①田中 富美穂様 ②熊本県中央町 二俣五橋新年弥橋 ③11月中旬 午前11時頃 ④写真は水面の反射が気になりPLフィルターを使用。ピーカンより花曇りがお勧め。国道218号線の橋上での撮影は、大型車が通ると揺れるため振動に注意。⑤産交バスまたは熊本バス→小錠バス停→徒歩3分



<紅葉の部>

14 ①今里 正信様 ②島根県津和野町堀庭園から車で5~6分(ただし、旅先で偶然に見つけたため正確な位置不明) ③11月中旬 写真は午後2時~3時だが、1日中撮れそう。④青空をバックに木を浮かすような撮影ができれば素晴らしいのではないか。田畑を荒らしたり、ゴミの散乱は是非避けて。⑤JR山口線津和野駅下車→石見交通バス長野行き約25分→堀庭園下車徒歩30分



13 ①萩原 秀政様 ②岡山県総社市井尻野宝福寺(雪舟が涙で鼠を描いた由來の寺) ③11月中旬 朝夕が良い ④カエデが秋には山門、仏殿、伽藍、三重の塔などを鮮やかに彩る。朝夕の斜光にひときわ映えるが、雨も風情あり。⑤JR伯備線総社駅下車→備北中鉄バス湯井下車→徒歩約800m



12 ①安井 善行様 ②奈良県室生村 室生寺境内 ③11月上旬~下旬 午前9時~11時頃 ④紅葉とコケラ屋根との露出格差が大きいことに注意。薄曇りの日に輝度差の少ない半逆光が良い。⑤近鉄大阪線室生口大野駅下車→奈良交通バス約15分→室生寺前より土産物屋の川沿いに徒歩5分で太鼓橋



15 ①石川 満雄様 ②徳島県池田町川之江方面の途中 ③10月下旬 午前11時~午後2時 ④逆光の位置を探すこと。⑤JR土讃線阿波池田駅下車192号線 車で約30分



説明中の番号は ①撮影者 ②撮影場所 ③撮影チャンスと時期 ④撮影アドバイス ⑤交通手段

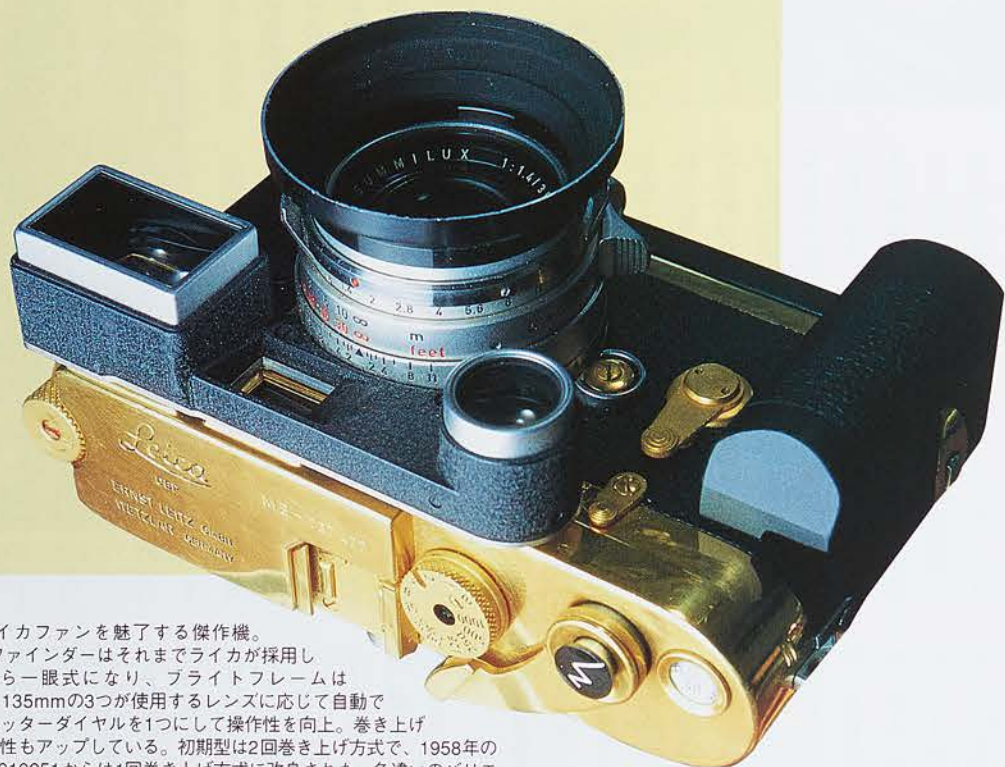
※撮影時期はその年の天候に左右されますので、事前にご確認の上お出かけください。
 ※掲載写真は昨年以前に撮影されたものです。現在は景観が変わっていることも考えられますので、ご了承ください。
 ※撮影する場合はエチケットやマナーを守りましょう。特に撮影地の所有者や近隣に迷惑をかけないように注意しましょう。また、自然環境への配慮もお願いいたします。

●印はカメラのキタムラがある地域。

特集 ● ライカの世界

奥深い味わいがカメラファンを 引きつけてやまないライカ

～田中長徳氏ちやうとくに聞くライカの魅力～



M3 1954年
いまだ多くのライカファンを魅了する傑作機。1954年に発表。ファインダーはそれまでライカが採用していた二眼式から一眼式になり、ブライトフレームは50mm・90mm・135mmの3つが使用するレンズに応じて自動で切り替わる。シャッターダイヤルを1つにして操作性を向上。巻き上げレバーにより速写性もアップしている。初期型は2回巻き上げ方式で、1958年のシリアルナンバー919251からは1回巻き上げ方式に改良された。色違いのバリエーションを含め、1968年までに計214,744台製造された。

戦前から戦後にかけて、カメラがまだ非常に高価であった時代、カメラを買うということは男の道楽、一部の資産家たちの趣味であった。そうした時代に「ライカ一台、家一軒」と呼ばれ、高額なカメラのシンボルとして君臨していたのが、今回取り上げるライカである。最近のクラシックカメラブームとあいまって、このライカに関する著述もカメラ雑誌などで見かける機会が多くなっている。そこでカメラのキタムラでは、「くさっても、ライカ」「ライカの謎、謎のライカ」など、ビギナーにもわかりやすい軽快な筆致で数多くのライカに関する著作をお書きになり、また仕事にもライカを使用されている写真家の田中長徳氏をお招きして、ライカの魅力についてお話を伺った。

たなか ちやうとく
1947年東京生まれ、日大写真科卒。日本デザインセンター勤務の後、1973年からフリーランス写真家に。ウィーンに8年間、ニューヨークに1年間滞在。東京、ウィーン、ニューヨークなどで個展多数開催。著書写真集多数。最近クラシックカメラのエッセイの仕事も多い。日本写真家協会会員。



Nikon



Nikon F5

希望小売価格(税別)
ボディ本体(ストラップ付) ¥325,000
AFニッコール50mmF1.4D付 ¥363,000

ニコンF5は3年保証。お客様の信頼に品質でお応えします。(ニコンF5ボディ本体は、保証書に記載の保証規定によりご購入日から3年間、保証修理をいたします。くわしくは、当社サービス機関にお問い合わせください。)

株式会社 **ニコン** 本社 100-8331 東京都千代田区丸の内3-2-3(富士ビル)
製品に関するお問い合わせは「お客様相談室」まで。電話(03)3216-1010 FAX(03)3287-0897

京セラ株式会社



CONTAX AX

Automatic Back Focusing System

- 永年愛用のCarl Zeiss Jena T* レンズがそのまま使える画期的なAFシステム
- 新開発オートマチックバックフォーカシング方式
- 作面重視の測光方式、中央重点平均測光/スポット測光
- 高精度 最高速1/6000秒縦走りフォーカスプリレンジャー
- チタンカバー採用の強靱なアルミダイキャストボディ
- 絞り値、シャッター速度、露出モード、露出補正値の撮影データ等を記録できる専用データバックD-8
- メーカー希望小売価格: 本体 250,000円 データバックD-8 68,000円(税抜き価格)
- お問い合わせは: 京セラ(株)光学機器事業本部〒150東京都渋谷区神宮前6-27-8 TEL.03-3797-4611(代)



「仕事では、最近よくM6を使用しているんですよ。今日は小さなスタンダードを構えていただいた。先生のお気に入りの逸品。」

田中先生はいつ頃からライカをお使いになつたんですか。

私がものごころついた頃は一眼レフカメラの勃興期で、ライカなんか知らなかったんです。ライカというのは面白いカメラで、それがライカであるとかからないと、全然価値が認められないものなんです。なんだかクラシッくな格好をして、窓がついて、使いにくそうだなと思つたのが一番最初の印象だったんです。

ライカを意識したのは、父親がとっていたアサヒカメラという雑誌に、木村伊兵衛先生が優れたスナップショットを撮ってらして、データを見てみたらライカM3と書いてありました。このライカM3というのはどういう

田中先生がお持ちのライカ・スタンダード。「1938年製のボディに去年できたリコーのコンパクトカメラのレンズを付けているんです」ボディとレンズの製造年代には実に60年の差がある。



カメラなんだろうと思ひまして、その当時のカメラの本を見たら、以外とこれは使いやすいようなカメラじゃないかと、じゃあ買ってみたいよかと思つたんです。まだ中学生だったんですけど、その当時の輸入代理店はシユミットといって神田にあったんです。行ってびっくりしました。高価で。その当時のサラリーマンの給料の何ヶ月分でした。自分はライカは一生涯買えないと思ひましたね。

ライカが高いという余計に欲しくなる。その頃なんとなく写真が好きで撮りはじめてまして、日大の芸術学部写真学科に進んだんですけど、父親をだましてライカのM2を買わせたんです。これを買いましたのは1967年、20歳の時です。当時としては大変な値段でしたので、もちろん新品では買えません。その当時のライカは新品が25万円くらいなんです。13万円ほど払つたと思います。

ライカを手に入れたのがうれしくてうれしくて、それでスナップショットを撮りはじめてたんです。30年前の話ですから、その当時にはまだコンパクトカメラというものがこの世になかったんです。ライカというのは中判カメラが主流だった当時、それらの機種と比べるとコンパクト、それも非常に高級なコンパクト、そうした存在感がありました。スナップの神様といわれているアンリ・カルティエ・ブレッソンをはじめ、欧米の写真集やアメリカのカメラ雑誌で、私がいちと思つた写真のデータを見てみると、どれもライカで撮られていたんです。一眼レフはクローズアップを活性化してくれるんです。このスタンダードの場合は、こちらから考えなければいい写真が撮れません。まず露出を自分の目で測らなければならぬ。距離計もついていませ

ライカは人間の欲というものは変なもので、ライカが高いという余計に欲しくなる。その頃なんとなく写真が好きで撮りはじめてまして、日大の芸術学部写真学科に進んだんですけど、父親をだましてライカのM2を買わせたんです。これを買いましたのは1967年、20歳の時です。当時としては大変な値段でしたので、もちろん新品では買えません。その当時のライカは新品が25万円くらいなんです。13万円ほど払つたと思います。

ライカを手に入れたのがうれしくてうれしくて、それでスナップショットを撮りはじめてたんです。30年前の話ですから、その当時にはまだコンパクトカメラというものがこの世になかったんです。ライカというのは中判カメラが主流だった当時、それらの機種と比べるとコンパクト、それも非常に高級なコンパクト、そうした存在感がありました。スナップの神様といわれているアンリ・カルティエ・ブレッソンをはじめ、欧米の写真集やアメリカのカメラ雑誌で、私がいちと思つた写真のデータを見てみると、どれもライカで撮られていたんです。一眼レフはクローズアップを活性化してくれるんです。このスタンダードの場合は、こちらから考えなければいい写真が撮れません。まず露出を自分の目で測らなければならぬ。距離計もついていませ

機です。確かに最近のカメラの方が最新技術で作られていますから優れているわけですけど、では今、私が持っているライカのスタンダードは、最近のカメラと比べてダメなのかという、そうではないんです。かえって私を活性化してくれるんです。このスタンダードの場合は、こちらから考えなければいい写真が撮れません。まず露出を自分の目で測らなければならぬ。距離計もついていませ

ライカは1970年くらいまでは常に小型カメラの進歩の最前線にいたんです。ということは、その時代その時代の最新鋭機、ライカの最前線を使うことができる楽しみがあるんです。たとえばM3だと1950年代の最新鋭機ですし、M6は1980年代の最新鋭

機です。確かに最近のカメラの方が最新技術で作られていますから優れているわけですけど、では今、私が持っているライカのスタンダードは、最近のカメラと比べてダメなのかという、そうではないんです。かえって私を活性化してくれるんです。このスタンダードの場合は、こちらから考えなければいい写真が撮れません。まず露出を自分の目で測らなければならぬ。距離計もついていませ

やはり20代の頃にはライカの中でも最新の機種でないと思ひに入らなかつた。親をだまして買ったわけですが、その当時は高価なことであつて、一生にライカは一台だけでいいと思ひていました。ところが70年代になると、もう一台欲しくなつたんです。その当時のラ

イカは人間の欲というものは変なもので、ライカが高いという余計に欲しくなる。その頃なんとなく写真が好きで撮りはじめてまして、日大の芸術学部写真学科に進んだんですけど、父親をだましてライカのM2を買わせたんです。これを買いましたのは1967年、20歳の時です。当時としては大変な値段でしたので、もちろん新品では買えません。その当時のライカは新品が25万円くらいなんです。13万円ほど払つたと思います。



M6 1984年以降
1980年に発表された1998年現在現行機種。「ライカのビギナーの方はまず、この機種から」と田中氏がお勧めの逸品。外観的にはトップカバーがそれまでの真鍮製から亜鉛合金製に変更され、当初はブラッククロームタイプだったが、1985年からシルバークローム仕上げも追加された。歴代ライカ中最も生産期間が長い。M6に付いているライカターレット(コード名OROLF)は1958年に250台だけ生産された珍品で、ライカスクリュマウントを三本付けて、迅速なレンズ交換を可能にする付属品。M6にも使用可能なのはライカの初期設計の優秀さを示すもの。

ライカは人間の欲というものは変なもので、ライカが高いという余計に欲しくなる。その頃なんとなく写真が好きで撮りはじめてまして、日大の芸術学部写真学科に進んだんですけど、父親をだましてライカのM2を買わせたんです。これを買いましたのは1967年、20歳の時です。当時としては大変な値段でしたので、もちろん新品では買えません。その当時のライカは新品が25万円くらいなんです。13万円ほど払つたと思います。

ライカは人間の欲というものは変なもので、ライカが高いという余計に欲しくなる。その頃なんとなく写真が好きで撮りはじめてまして、日大の芸術学部写真学科に進んだんですけど、父親をだましてライカのM2を買わせたんです。これを買いましたのは1967年、20歳の時です。当時としては大変な値段でしたので、もちろん新品では買えません。その当時のライカは新品が25万円くらいなんです。13万円ほど払つたと思います。



M2 1958年
M3型の普及型としてファインダー・距離計を簡略化し、セルフタイマーの省略やフィルムカウンターを手動リセット式にするなど、コストダウンに主眼をおいて開発したモデルであったが、新たに35mmレンズのフレームがファインダーに入れられたことにより、主に広角レンズを使用するユーザーにはM3より歓迎された。1970年まで製造されたが、ブラックタイプやM2-Rなどを含め、バリエーション全体で87,576台が製造された。



IIIa型 1935年
1932年に登場したコンタックスに対抗してIII型に1/1000秒を追加したモデル。シャッター部にはダンパーが取り付けられてシャッターショックが少なくなると同時に、誤動作を防ぐためにスローシャッターダイヤルにクリックストップが付けられた。総生産台数92,678台のうち、ブラック仕上げは800台、他はクローム仕上げ。



スタンダード 1932年
1930年に発表されたII型から運動距離計を省いたもので、バルナック型ライカの完成形である。I型と酷似しているが巻き戻しノブが細い。1932~1950年とかなり長期間生産されたが、第二次大戦の影響を受け、スペックはバラバラであった。27,225台生産され、クロームは1933年に発売された。



I型(A) 1925年
市販された最初のライカ。日本ではA型と呼ばれ、ボディは総金属でグッタライカ(熱帯樹の樹脂から作られるゴムに似た物質)が張られている。レンズは固定式で交換できない。ピントは目測またはFODIOという距離計を使用し、値を読みとってレンズの数値目盛りを合わせた。ファインダーは角筒型の逆ガリレオタイプ。I(A)型はレンズ違いなどのバリエーション全体で約59,000台が生産された。

気のように撮ることができると、そんなカメラだったんです。

それと、それまで使っていた一眼レフカメラと感触が全然違っていったのは手触りです。ライカの手触りは他のどのカメラとも違っていたんです。

ライカは人と人とを結びつける不思議な力があると田中先生は著書にお書きになっていますけど、これはどういう意味なんですか。

ライカというのは1925年から今年まで、70数年間に造られた台数というのが二百数十万台。その間に戦争が含まれていまして、壊されたカメラもあるだろうし、残っているのは100万~150万くらいではないでしょうか。たとえば日本のキヤノンだけでカメラを2億台も作りました。そう考えると、カメラ市場の中ではライカというのは少数派なんです。少数派ですから、お互いに街角で外国人同士がライカのような高価なカメラをわざわざ下げていることに、何かの縁を感じますよ。ついでに声をかけたくなる。別にナンパするわけじゃないですけど(笑)。

1980年の暮れだったと思うんですけど、ポルトガルのリスボンに行つたんです。私のような単なる外国人観光客というのは、寂しくて視神経が刺激されるんです。だいたいの写真家というのは寂しがり屋なんです。人間ハッピーになったら写真なんか撮りません(笑)。リスボンの坂の多い街角の夕暮れのパノラマで、私が赤のワイングラスを傾けていた。絵になるでしょ(笑)。するとそこに、やはり

これからライカを買おうとしているアマチュアの方にアドバイスするとすれば、ライカのどの機種が適しているとお考えですか。

最近アマチュアの方から1台目のライカは何かいいでしょうかと聞かれることが多いんですが、M6を買うように勧められています。失敗することを恐れない、というのであれば、M2でもM3でもお好きなものを買いたいですとアドバイスしています。ライカは以前は高級品というイメージがあったのですが、日本は今や世界で最もライカが買やすい国なんです。世界のライカの価格を比べてみても、日本は世界で一番安い。M6は最新鋭機であり、しかも使いこなす楽しみがあります。オートフォーカスではないですから。

露出計もついていますが定式式ですから、ちゃんと合わせないとダメですね。特にM6の露出計はかなりスポット測光の、訓練を積んだ方でないと使いこなせないものなんです。通常の一眼レフはカメラが勝手に標準的な露出に調整してくれますが、M6は中央重点式よりも、さらに測光範囲が狭いんです。アマチュアの方でM6を買ったんだけど写らないという方がいらっしゃいます。M6で写真を撮るときには露出計に頼らずに、撮影する前にアスファルトの路上とか、グレーの床といったものを直もって測るといいんです。それを露光の標準として撮るとうまくいくんですよ。それがわからないと、たとえば風景の一番明るいところに露出を合わせたり、一番暗いところに露出を合わせたりするのは、失敗する方が多いんです。入門機としてはM6がいいんですけど、一

番いい時代のライカの手触りに触れてみたいという方にはM3をお勧めします。このM3も、世界の先進国の中では日本は買やすい国だと思います。

最後にライカで撮影する場合の注意点や、メンテナンスの方法について教えてください。100人の人がいれば100通りのライカの扱い方があると思うんですが、最も気をつけていたいただきたいのは、「ライカを落とすな」ということです。これは私の体験からきているんです。ライカを落として壊したために、大事なショットが撮れなくて無念な思いをしたうえに、それを修理屋さんにもって行って、法外なお金を請求され、そのおかげで、その後何ヶ月もお酒が飲めなかったんです。

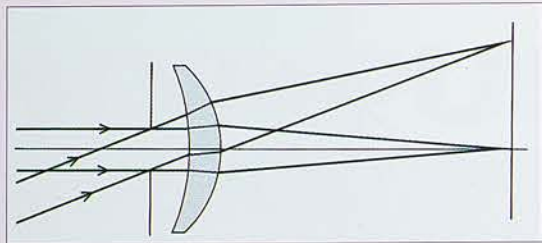
もう一つは「ライカのメンテナンスにお金をケチるな」です。ライカの定期的なメンテナンスはちゃんとやるべきです。ライカというのは非常に頑丈であるがゆえに、逆に故障がわかりづらくいんです。最近のカメラはいきなり壊れるんですが、ライカは徐々に具合が悪くなってゆくんなんです。まだ使えるだろうと思っていると、あるイーブンポイントを越えてシャッターにムラが出たりするんです。ですから定期的なメンテナンス、少なくとも3年に1度くらいはオーバーホールをしたり、1年に1度くらいは各部点検をするなど、ライカを使う場合は、そのメンテナンスの費用を最初から経費として見込んでおいた方がいいでしょうね。

ありがとうございました。

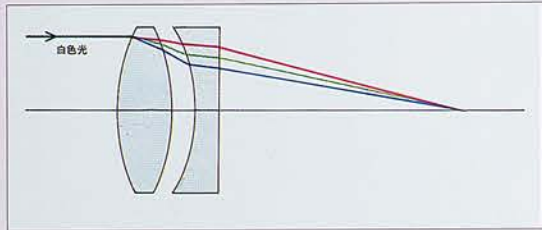
写真おもしろいストーリー 19

レンズ物語 後編 レンズは学問と技術の集大成

暗箱写真は古代から知られており、レオナルド・ダ・ヴィンチが「暗くした部屋に小さな穴を開けて、そこから入った光が反対側の壁に映り、ぼんやり像を形成する」と記しています。16世紀になると穴の代わりにレンズが使われるようになり、明確な像が得られるようになって、画家がキャンバス上に輪郭を描くのに利用されています。そのレンズはメニスカスレンズと呼ばれ、現在の読書用虫眼鏡のようなものでした。メニスカスとはギリシャ語で小さい月、三日月型の断面を意味します。写真術の発明者ニエプスが使用したレンズもメニスカス



写真技術の発明者ニエプスが使用したと思われるメニスカスレンズ。



凸レンズと凹レンズの組み合わせで、色収差の補正が可能になる。

ではないかといわれていますが、記述がありませんので、推定の域を出ません。しかし、その後のレンズの推移から考えて、ほぼ間違いのないところでしよう。まもなくパリのシユバリエ技師がニエプスに2枚構成の色消しレンズを提供しています。この2枚構成のレンズは色のニジミ(色収差)を抑えるように設計されたもので、この色収差が補正できるようになって、写真の写りが飛躍的に向上し、その後の写真用レンズに重要な役割を果たしました。色収差の補正方法は凸レンズと凹レンズの組み合わせでできていました。これらのレンズは、いずれも経験の中から生まれたもので、やがてこれをガウスが1840年頃に理論的、数学的に捉えました。新しいレンズを造るとなるとガラスの選定からしなければなりません。このガラスの選定で大活躍したのがカールツァイスのレンズ製造技術者アッペで、レンズ設計のためのアッペ数を確立しました。これはガラスチャートで、このチャートを設計者が見ると、新しく設計するレンズの特徴を把握できるというものです。さらにコダック社がレンズの使用枚数を減らす高屈折率のガラスを開発するなど、レンズの進化は多くの時間と才能を費やして、ゆっくりと

進んでいきました。そして成型が容易なプラスチックによるレンズの開発、さらには非球形レンズの完成へと進みます。アッペのおかげで簡単になったとはいえ、新しいレンズの設計には1930年以前は数人が1年がかりで膨大な計算をしなければなりません。この間、天文学的な計算が続けられていたわけですが、コンピュータの発達によってレンズの開発の

現場は飛躍的に改良されます。特に非球形レンズはコンピュータの開発なしでは応用が難しかったといわれており、コンピュータとレンズは切っても切れない関係となりました。このように、レンズは数学、科学、化学、生産技術など、あらゆる学問と技術が、その可能性を追い求め続けて、今日に至っているのです。

RICOH

高次元の描写力。



GR1sの主な特長 ●GR LENS 28mm F2.8は、非球面レンズ採用、4群7枚オールガラスのマルチコーティングで優れた描写力 ●暗い状況下でも便利な光る情報パネル ●逆光時の撮影に重宝する本格的な花型フードを装備 ●ナチュラルな画像を生むディストーション性能の良さ ●ニュートラルな発色のCCL分光透過率 ●高精度7ゾーンパッシブ方式マルチオートフォーカス ●美しいボケ味のために考慮された7枚構成のレンズ絞り羽根 ●シンプルで明るいブライトフレームファインダー ●絞り優先AE ●露出補正ダイヤル ●主な撮影モード: フラッシュ強制発光モード(日中シンクロ/スローシンクロ可) ●フラッシュ発光禁止モード ●オートフラッシュモード ●遠景モード ●シングルAF (LV6以上中央重点測光) モード ●スナップモード ●フォーカス固定モード ●赤目軽減モード ●セルフタイマーモード ●タイムモード等

GR1s (ボディカラー: ブラック/シルバー)
●メーカー希望小売価格(フード・革ケース込)
GR1s ¥95,000(税別)
GR1s DATE ¥105,000(税別)

リコーカメラお客様相談窓口 リコーカメラについてご意見・ご希望がございましたら下記までご連絡ください。
TEL 0104-0061 東京都中央区銀座6-14-7 株式会社リコー パーソナル事業部
0120-007962 ●受付時間 月曜から金曜/9:30~17:00
FreeDial ●土曜・日曜・祝日はお休みさせていただきます。

CLASSIC CAMERA No.1



ライカ入門書の決定版 「クラシックカメラ①特集ライカ」 「カメラはライカ“金属魔境”へのご招待」

さらにライカを詳しく知りたいという読者に、ライカ入門書の決定版ともいえる書籍が2冊市販されているので紹介いたします。今回ご登場いただいた田中長徳氏が責任編集をされている「クラシックカメラ①特集ライカ」はライカ最初期のウル・ライカからM6に至るまで、機種の特徴と操作方法がわかりやすく写真入りで記載されています。また、桑原甲子雄氏、大竹省二氏、高梨豊氏、鷺尾倫夫氏など、現在でもライカを使用されている写真家の先生方の話も収録され、まさにライカ入門の決定版といえる双葉社発行の1冊です。「カメラはライカ〜“金属魔境”へのご招待〜」は、文庫化された田中氏の著書で、田中氏の洒落な文章を楽しく読み進めるうちに、知らぬ間にライカの魅力に惹かれてゆく作品。ライカファンならずとも、カメラを愛する方すべてにお勧めする、光文社文庫の1冊です。

「クラシックカメラ①特集ライカ」(双葉社) 定価1,800円(税別)
「カメラはライカ“金属魔境”へのご招待」(光文社) 定価743円(税別)

OLYMPUS



上はC-840LのHQ（高画質1,280×960）で撮影、下はC-1400LのHQ（高画質1,280×1,024）で撮影し、プリントした画像。デジタルカメラで撮ったとは思えないほど鮮明で、デジタル画像特有の画質の粗さはまったく感じられない。



カメラのキタムラ 営業部 電子映像・移動体通信担当バイヤー 山本政純

デジタルの世界に銀塩の経験を生かし、一眼レフとコンパクトの2機種で挑む オリンパスの高画質デジタルカメラ。

オリンパスというと、銀塩カメラのセンチュリオンやムを発売し、その洗練されたデザインを思い浮かべる読者も多いのではなからうか。これらの商品からは、オリンパスが技術の最先端を優雅に飛翔するメーカーという印象を受ける。しかし実際に取材させていただき、話を伺ってみると、オリンパスには、そうした優雅な表向きの下に、写真文化とユーザーを見据える「かたくな」技術者の姿をかいま見ることが出来る。それは今回取材させていただいたデジタルカメラのように、技術の先進性を求められるシーンで、より鮮やかに浮かび上がる。

デジタル写真も写真文化に参画できる。それを証明してみせたCAMEDIA。

「これまで銀塩フィルムカメラで数々の傑作を世に出してきたオリンパスさんが、最初にデジタルカメラの世界に踏み込んだのは、どのような事情によるものですか」

とカメラのキタムラで電子映像部門を担当している山本政純が切り出した。きっかけは、ソニーの発表したマビカ、いわゆるマビカショックだったという。「いずれはみんな電子カメラに変わっていくのではないかとこの危機感を各メーカーが持たれたんではないか」と思います」と語るのにはオリンパス光学工業(株)DI事業推進部の中島幸夫次長。オリンパスもこれを機会に電子カメラの開発の検討をはじめた。しかしその当時、実現できる技術というのはレベル的に低く、なかなかユーザーに受け入れられるものではなかったという。

オリンパスが最初に世に出したデジタルカメラはVC-1000、1100シリーズという機種であるが、これは業務用途の要求を満たすための製品だった。

デジタル写真というのはこの程度のもなんだ、写真とは言いながらも、とてもプリントアウトして楽しむ、感動できるような対象ではない、とユーザーに思われて市場の発展にブレーキがかかってしまうと困る。オリンパスとしてはデジタル写真でもこんなにきれいな絵が撮れるんだということを、ユーザーにわかってもらいたい。そうした同社のデジタルカメラに対する思いが結実し、CAMEDIA C-800Lを世に出すことになる。

高画質化の道のり

C-800Lの画質はデジタルでもここまでできるという驚きをもって市場に迎え入れられた。「それまで市場に出されていたデジタルカメラと比べると格段の高画質を実現されたわけですが、他社に先駆けて開発されたのですから、そこには並々ならぬ苦勞がある

ったのではないかと思います」という山本の問いかけに、「実は私どもがC-840Lを計画したときに、市場にはまたデジタルカメラ専用の35万画素以上のCCDというものがなかったんです」と中島氏はC-800L開発当時の苦勞を話される。

CCDというのはフィルムに変わって画像を電気的に記録する、デジタルカメラの心臓部である。CCDには銀塩の感光材料の代わりにセンサーのフォトダイオードという、光の強さを電気に変換する素子が敷き詰められている。その敷き詰められている数が、130万とか80万といったデジタルカメラのCCDの画素数である。通常我々が親しんでいるサービサイズドでプリントするためには、80万画素の画素数をもつCCDが最低限必要になった。それがオリンパスの求めた最低のレベルだったのだが、当時はまた、それを満たしたCCDは市場になかった。

やがて様々なメーカーから、デジタルカメラでも比較的価格の商品がラインナップされはじめる。それらの低価格の製品群を前に、オリンパスは数々の銀塩カメラの名作を世に出してきた光学機器メーカーらしい疑問を抱く。「デジタルカメラもカメラという名前がついているのだから、一般のユーザーからすれば、写真を撮る道具と認識されていると思わうのです。しかし当時の低価格のデジタルカメラの画像をユーザーが見たときに、写真であるという認識をもらうためには、画質が粗すぎるように思えました。パソコンのモニターの上で見るのならいいのですが、我々が目指そうとしているデジタル写真は、プリントしても鑑賞に堪えられるもの、従来の写真文化を継承したものでした」と中島氏は当時をふりかえる。

CCDを新たに造るとなると困難な問題に突き当たる。CCDの開発にはかなりの投資を必要とするため、それが回収できるだけの生産数量がなければCCDメーカーは生産に応じない。「その当時はCCDメーカーさんでは100万画素もの高画素のデジタルカメラが売れるとは考えられなかったようで、我々がいくら説明しても聞き入れてもらえませんでした。結局応じていただけなのは1社だけだったんです。我々は商品に強い思い入れをこめて造りますので、たとえ1社さんだけでもご理解いただけただけは幸せなことだったと思います」と中島氏。その後C-800Lが市場に出るとインパクトがあったため、事態は急激に好転していったのだという。

最低限80万画素とはいうものの、きちんとした画質を求めるとなれば130万画素は必要になる。そうしたCCDの開発に合わせて、満を持して発表したのが131万画素を実現したC-840Lであり、その上をいく141万画素という超高画質を実現したC-1400Lである。

デジタルカメラの開発と同時に、使用するレンズも設計・開発された。CCDにはフィルムとは違うクセがあり、レンズも銀塩カメラ



CAMEDIA C-1400L
超高精細141万画素原色プログレッシブCCDと、高解像光学3倍ズームレンズを搭載しながら、普及価格を実現したC-1400L。デジタルカメラでありながら銀塩写真に匹敵する優れた画質を誇る。光学式ファインダーには一眼レフ方式を採用。希望小売価格128,000円(税別)



CAMEDIA C-840L
総画素数131万画素CCDと高性能レンズの組み合わせにより、コンパクトデジタルカメラの中で最高レベルの画質を実現。最大10cmまで接写できるマクロ撮影機能など、多彩な機能を搭載し、8MBの大容量スマートメディアを標準装備している。希望小売価格84,800円(税別)

ラの光学のノウハウがそのまま流用できるわけではないのだという。「銀塩のフィルムと違うのはどの方向から光が入っても、そんなに感度に差は出ないんですが、CCDの場合には垂直に近い光に対してしか感度を持たないんです。このため、CCDに垂直に近い光を与える必要があり、フィルムカメラの設計技術がそのまま生きるわけではないんです。オリンパスはデジタルカメラの世界に高画質を実現し、デジタルもまた従来の写真文化に充分参画できる可能性があることを、市場に示してみせた。しかしその裏には、一言では語れない苦勞の連続があったようだ。

高画質と手軽さ、 オリンパスの2つの解答。

「C-1400LとC-840Lという2つの高画質デジタルカメラをほぼ同時期に開発されたわけですが、この2つのカメラの開発背景の差を教えてくださいませんか」と山本はカメラを購入されるお客様の選択基準をたずねた。

「デジタルカメラに画質を追求してゆくとC-1400Lのように、しっかりとしたレ

レンズをつけてズームもつけて、ファインダーも一眼レフにして、というところに行き着きます。私たちは長い経験の中で、ファインダーの大切さを認識しています。できあがった写真はフィルムに写し込まれた結果にすぎないですが、それを撮影するまでのプロセスの中で、いかにシャッターチャンス、あるいはフレームングを満足させられるかという要因があります。それらのプロセスがあつて最高の画質になるのであつて、単に光学系をブラッシュアップしても、最終的な画像が必ずしもよくなるとは限らないんです。C-1400Lはそうした問題に対するオリンパスの、デジタルカメラでの一つの解答だった。

しかしカメラには携帯性という要素もある。あくまで画質を優先するC-1400Lは光学技術上からも、ある程度の大きさにならざるをえない。また、デジタル写真であるうと、構えて撮るばかりではなく、もっと手軽に撮ってもらいたい。その気軽さ、手軽さを実現したのがC-840Lである。中島氏は「デジタルカメラの可能性は広いし、ユーザー層をもっと広げたい。そのためには気軽に使えるカメラが絶対に必要になります。それがC-840Lなんです。それに対してC-1400Lはあくまで画質、写真にこだわる方のためのカメラです」とCAMEDIAのラインの差を説明する。

ユーザー指向の結果としてのデジタルカメラの進化を目指して。

「結局、オリンパスさんの場合は、その両方に成功しましたね」と山本。「デジタルカメラの場合、他のカメラメーカーさんの商品には、光学機器メーカーさん独自のノウハウが

出てないものが多いんです。内部だけならC-CDにしても何にしても、家電メーカーさんに対抗してくるじゃないですか。するとカメラメーカーさんの商品も家電メーカーさんの商品も、同列に並んでしまう。そこへいくとオリンパスさんのデジタルカメラには、光学系のカメラメーカーとしてのノウハウがしっかりと生きています」と、山本は他社メーカーとオリンパスの商品の差を売りの現場から指摘する。それに対し中島氏は「技術の流れから商品を作っていくのか、市場や文化という側面から商品を作っていくのか、その差ではないかと思えます」とオリンパスの特性を自己分析される。

デジタルカメラで用いられる技術はカメラというよりも、パソコンやビデオの流れに近い。このため開発、設計はデジタル技術や電子映像技術の技術者が担当することが多いのだという。「私どもの場合、確かに核になっているのはそうした技術者なんですけど、企画に関しては銀塩分野の人間がやっているんです」と中島氏は言う。C-840Lの場合、それまで市場に出ていた他社の機種と比べるとボタンの数が少なく、機能的にもかなりの限定を加えている。このことについて中島氏は「デジタルカメラのボタンをちょっと付け加えれば、いくらでも機能を加えることができます。しかし、写真というのは一瞬のタイミングを生かさなければならぬものではないんです。その一瞬を外したら価値が半減してしまいます。そのときにボタン操作に手間取ってチャンスを逃したら元も子もない。そこで直接写真を撮ること以外の機能を捨てていったんです」と語る。オリンパスが銀塩カメラで見せた、「単に世界最小を目指しているわけではない。使いやすさの追求として小さ

くしたのだ」という、技術の基の、常にユーザーを見つめ続ける企業ポリシーが、このデジタルカメラの世界にも脈々と受け継がれていることがわかる。

最後にオリンパスにデジタルカメラの今後の展望をうかがってみた。「オリンパスではデジタルカメラを現在の写真文化に、接ぎ木するような形で発展させていくことは考えていません」と中島氏は語る。写真文化の本流にきちんとしてきたデジタルカメラの商品を乗せていきたい。単に画素数の競争だけにとどまることのない、総合的な画質の追求。携帯性。デジタルならではの多機能性。そしてオリンパスではもう一つホームプリント、ホームラボの提案を行っている。「銀塩の場合はラボに出すしかなかったものが、デジタルカメラの場合は家で、あるいは撮ったその場で手軽にプリントアウトができるんです。そうした提案も、もっとしていきたい。それがデジタルでの新しい写真文化の広がりにつながっていくだろうと考えています」

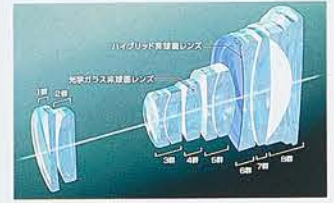
最先端のデジタル技術と従来の写真文化の狭間を優雅におよぐオリンパス。しかしその根底を銀塩カメラで培われた確かな経験がしっかりと支えている。



「やはりデジタルにもズームは必要ですね」と山本。「ええ、子供の写真を撮る時などは必要になります」と中島氏。カメラのこととなると二人の会話ははずむ。

薄型ボディ・高倍率140mmズーム

このクラスの常識を破る46mmの超薄型ボディに、ミューならではの美しいデザインを踏襲。レンズの全てにガラスレンズを使用。更に光学ガラス非球面レンズとハイブリットレンズを採用し、高精度のマルチバッシュAFとのベストマッチングによりシャープな写りを実現。



高倍率ズームに対応する大光量の新型フラッシュも搭載。もちろんオリンパス独自の生活防水付です。



手にフィット! 2倍ズームで世界最小・最軽量。ミューIIズーム 新登場。

ミューで撮ろりと決めました。

OLYMPUS
人から発想します。オリンパス

[mju:]

美しく、機嫌だけでもない。
μ新基準

PENTAX

CAMERA GRAND PRIX '98

カメラグランプリ'98
受賞

PENTAX

AFスーパーフィールドカメラ
645N

ボディ希望小売価格(税別) 300,000円
FA645 75mm F2.8 希望小売価格(税別) 60,000円

旭光学工業(株)・ペンタックス販売(株)
インターネットホームページ <http://www.pentax.co.jp/>

中判はペンタックス645N&67

カメラグランプリ実行委員会
カメラ記者クラブ
アサヒカメラ カメラ年鑑 カメラマン CAPA
コマージュフォト フォトの専売 写真工房 日本カメラ
日本フォトコンテスト フォト・タクニック 写真研

準特選 賞金10万円と楯

リバーサルプリント・桜の部<4名>



「満月・満開」福沢勝好 (長野県下伊那郡) 「山里夢玄」戸田 聡 (広島県広島市) 「花の絨毯」鳥井原 博美 (愛媛県新居浜市) 「さくら」山本貴則 (高知県高知市)

リバーサルプリント・一般の部<4名>



「菜の花いっぱい」池田 浩 (岩手県岩手郡) 「振り向いて」大森隆一 (東京都田無市) 「湖畔に咲く」廣江孝義 (愛知県一宮市) 「春雪」武田 備 (愛媛県新居浜市)

ネガカラープリント・桜の部<4名>



「入園式が終って」杉山みどり (静岡県浜松市) 「夜桜」池葉須 稔夫 (岡山県新見市) 「へき地の入学式」寺田利子 (愛媛県西条市) 「雨情」堀川 宏 (熊本県菊池郡)

ネガカラープリント・一般の部<4名>



「菜の花」大岩秀近 (愛知県名古屋市) 「仲よし」小蔵武三 (滋賀県草津市) 「百合咲く路」岡本慎二 (奈良県大和郡) 「あやめ」橋本鉄三 (香川県高松市)

コニカ賞 全部門共通 賞金3万円と楯<10名>



「浅春」角屋健次 (新潟県南魚沼郡) 「雪解けの滝」福島健介 (石川県小松市) 「早春」矢持哲彦 (福井県小浜市) 「早春の椿」村田修造 (東京都新宿区) 「茶会場にて」石川恵子 (神奈川県横浜市) 「駒つなぎの桜」菅沼春彦 (長野県飯田市) 「カキツバタ」川北まり子 (大阪府堺市) 「桜吹雪」石川栄一 (兵庫県川西市) 「藤の溪谷」萩原秀政 (岡山県倉敷市) 「しょうぶの里」渡辺義弘 (熊本県熊本市)

入選 賞金1万円と楯

リバーサルプリント 桜の部<50名>

- 北海道 佐斉正憲(厚岸郡) 青森県 山口和男(南津軽郡) 福島県 真部 信太郎(喜多方市) 小寺敏雄(伊達郡) 新潟県 吉岡義和(長岡市) 野崎了司(北蒲原郡) 石川県 長田武司(金沢市) 横山 馨(河北郡) 長野県 佐藤正一(駒ヶ根市) 東京都 相川 誠(練馬区) 岡崎進治(中野区) 加藤 隆(青梅市) 長谷川 勉(狛江市) 神奈川県 石川忠男(横浜市) 渡部幸一(小田原市) 静岡県 杉山孝次(静岡市) 山梨英昭(島田市) 小出 光郎(志太郡) 森上 倍名(浜北市) 大阪府 大西良昭(東大阪市) 柏原 守(八尾市) 京都府 村田栄一(京都市) 栗田正一(亀岡市) 奈良県 大迫 明(奈良市) 木村健次(橿原市) 岡本英男(北葛城郡) 南本 健(磯城郡)

- 和歌山県 中村みつる(橋本市) 岡山県 岡崎義昭(岡山市) 岡本義光(岡山市) 三上弘三(倉敷市) 山崎節雄(真庭郡) 広島県 上野 晃(広島市) 別府 亮(東広島市) 鳥取県 山根周治(米子市) 山口県 上村義博(下関市) 田中正司(萩市) 愛媛県 大野 守(松山市) 源代 康宏(新居浜市) 加藤 進(新居浜市) 船場 優典(新居浜市) 大野順男(上浮穴郡) 戸田 登(周桑郡) 高知県 田中 穰(幡多郡) 徳島県 日下真智子(板野郡) 日下芳治(板野郡) 福岡県 木立萬藏(粕屋郡) 熊本県 緒方昭夫(熊本市) 大仁田 繁(荒尾市) 黒田正美(荒尾市)

リバーサルプリント 一般の部<30名>

- 北海道 村上優司(苫小牧市) 古平文男(三笠市) 島根県 島根充男(河東郡)

- 青森県 小井田 和虎(八戸市) 岩手県 堤内安男(盛岡市) 新潟県 江部 勇(新潟市) 清水陽一(新井市) 藤井正樹(南蒲原郡) 富山県 松本哲男(富山市) 荒木博昭(高岡市) 埼玉県 多田茂雄(本庄市) 副島 清(東松山市) 長野県 平田光夫(上田市) 岐阜県 稲葉 進(可児市) 大分県 北埜義治(堺市) 奈良県 森 秀雄(奈良市) 沢木 仁(香芝市) 吉田芳雄(高市郡) 中堀喜雄(磯城郡) 広島県 あすか みのる(広島市) 樋野村 孝(広島市) 西元 真(府中市) 山口県 森木泰次(下関市) 末広孝夫(防府市) 岡山県 津島貴子(和気郡) 愛媛県 谷川龍玄(松山市) 岡本一志(伊予市) 森 晋一(伊予三島市) 福岡県 本村弘年(筑後市) 長崎県 鎌塚長市(長崎市)

ネガカラープリント 桜の部<20名>

- 北海道 田中恵治(札幌市) むらうち かつお(山越郡) 山形県 佐々木吉治(酒田市) 東京都 井町友安(西多摩郡) 埼玉県 今枝 進(浦和市) 関戸 守(岩倉市) 榎本定行(知多市) 大分県 有木恵美(大分市) 今本治秀(岸和田市) 三重県 和田 勉(四日市市) 駒田紀夫(鈴鹿市) 兵庫県 木村哲也(姫路市) 岡山県 小宮山ミサ子(赤磐郡) 田辺 明(苫田郡) 徳島県 杉本正利(徳島市) 香川県 川北正人(高松市) 福岡県 篠原昭幸(前原市) 松枝初男(京都市) 大分県 黒木弓枝(大分市) 熊本県 黒瀬博恭(熊本市)

ネガカラープリント 一般の部<20名>

- 青森県 一戸忠雄(西部) 秋田県 菅原義昭(湯沢市) 宮城県 渡部 忠(石巻市) 山形県 佐藤正男(飽海郡) 福島県 小田島 守明(郡山市) 東京都 岡田 悟(北区) 吉井 功(品川区) 神奈川県 高橋幸枝(相模原市) 長野県 三橋英毅(南佐久郡) 下林 甲子男(東筑摩郡) 愛知県 樽松 員美(一宮市) 八上隆久(愛知郡) 三重県 川口紘民(安芸郡) 鳥取県 森本康弘(日野郡) 島根県 吉岡直樹(簸川郡) 山口県 高田和夫(宇部市) 高知県 畑山安正(土佐清水市) 香川県 西村光洋(高松市) 横山昭人(観音寺市) 福岡県 占部利幸(福岡市)

(入賞者敬称略) ※上位入賞作品は、キタムラホームページ上でもご覧いただけます。

キタムラホームページ <http://www.kitamura.co.jp>

カメラのキタムラ 第6回全国「春の花」フォトコンテスト

入賞作品発表!

フォトネットワーク

カメラのキタムラ

主催:カメラのキタムラ 協賛:コニカ株式会社

応募総数 約15,000点

第6回「全国春の花フォトコンテスト」に、今年もたくさんのご応募ありがとうございました。約15,000点の応募総数の中から、見事に入賞された方々の作品を、ここに発表させていただきます。

総評:桜の季節が終わってから審査しているわけですが、もう一度桜に酔わせてもらえる、花の香りを感じさせてくれる作品がたくさん集まったと思います。晴れている日に撮った作品ばかりではなく、雨の日や、珍しい雪の日に撮ったもの、また桜が咲いているところばかりではなく、散っているところ、ドラマチックなシーン、夕暮れ時の作品など、バリエーションが多く、一段とレベルが上がっています。選考では単にきれいなだけの作品では、なかなか最後まで残れません。地元の人にしか撮れない生活と密着した作品や、一瞬のシャッターチャンスうまくとらえた作品、撮った人の気持ちがうまく伝わってくる作品が残りました。特にみんな楽しみながら撮っているところがよかったです。

審査員 三好 和義氏 1958年徳島生まれ。1981年東海大学文学部広報学科卒業。同年株式会社楽園を設立。13歳の時時鐘を訪ねて以来、タヒチ、モルディブ、アフリカ、インド、エベレストなど世界各地で、「楽園」をテーマに撮影を続けている。高校時代には銀座ニコンサロンで最年少で個展を開き、27歳の時には写真集「RAKUEN」で木村伊兵衛賞を最年少で受賞。最近では故郷徳島の吉野川をテーマに写真撮影に取り組み、まもなく15冊目の写真集「ぼくのふるさと 阿波吉野川」を出版。現在、北マリアナ連邦経済参事官、阿波大使として活躍中。



審査風景



「ファイナル」 笹野 凱彦 (北海道函館市) 大賞 賞金30万円と楯<1名> 寸評:花吹雪の一瞬のシャッターチャンスを、あわてずに的確にとらえています。アングルもいいし、構図の切り取り方もいい。人物に合わせるよりも花びらにピントを合わせたところが成功しています。

ささの よしひこ 1935年北海道函館市生まれ。中学生の頃から風景写真を撮りはじめる。現在はアマチュアカメラマンの特権を生かし、風景写真はもとより、函館市内を中心に観光写真、スナップ、スポーツ写真と、広範囲に写真を撮っている。



特選 賞金20万円と楯

リバーサルプリント・桜の部<2名>



「春の宵」明楽 俊應(岡山県津山市) 室内の明かりをうまく活かした、今までにない現代的な作品です。 「夕照」山田和範(香川県観音寺市) 画面をダイナミックに切り取っています。落ち着いた格調があります。

リバーサルプリント・一般の部<2名>



「春景静寂」鈴木誠次郎(静岡県浜松市) 杉の木立に遠近感をつけて緊張感を出した、完成度の高い日本画のような作品です。 「春雪」古谷重幸(広島県広島市) 色調が統一されている上品な作品です。鳥がポイントになっています。

ネガカラープリント・桜の部<2名>



「夜桜」阿部 隆(秋田県横手市) 生活感のある面白い作品です。夕暮れに撮ることで、やわらかく仕上がっています。 「春の散歩道」望月正晴(静岡県清水市) シルエットになった人物が画面を引き締め、富士山をより大きく見せています。

ネガカラープリント・一般の部<2名>



「菜の花畑で大野点」地名一二三(青森県青森市) アングルが的確で、色の配置もバランスのいい作品です。 「ふじ棚」藤原照美(山口県下関市) 左端の人物が木の大きさを強調して、ダイナミックさを出しています。

中古カメラ特集

——より良い製品を得るための購入ポイント——



新潟市とやの店の中古品の並んだウィンドー。

まず、中古カメラを購入する時の心構えとして、中古という点、構えてしまうお客様がおられますが、売買を楽しむ気持ちで始めるといいでしょう。信用のあるお店を選べば、相場通りの価格で購入でき、どこかに故障があったり、高く買わされることもありません。

中古を購入する場合、大きく分けると実用性を重視するのか、装飾品などのコレクション性を重視するのかに分けられますが、ほとんどの場合、実用性が主体になっていて、お店の方の対応も、実用性を重視して

中古品を購入するケースとしては、ある特定のカメラ、レンズを是非、使ってみたい人、欲しい品があっても予算が足りないために中古で我慢しようという人、中古品でも性能が完全であれば、安だけ得であると割り切った考えの人、できるだけ他品種のカメラを使ってみたい人、コレクションとして集めている人など千差万別で、こうした事情を満足させてくれるのも中古カメラの特徴といえるでしょう。また、お客様が新品カメラを中古品として売る場合、購入価格と売る価格との格差が大きくなりますが、中古で購入してそれ

中古カメラは現在、ブームを呼んでいます。「今なぜ、中古なのか」いろいろな要因を挙げられますが、一眼レフではメタリック調のあのズシリとした感触、メカニカル式な制御系統に電子回路を使用していない機械に対する哀愁、クラシックな感じのカメラに装飾品としての価値を見いだしている人もいます。加えて、新品と比較して現行商品であっても半額前後の安価なことも見逃せません。ところが、この中古品は慣れない人は馴染めない面があるようですが、「中古道」といわれるほど奥の深さがあり、始め出すとその楽しさのために多くの人たちが病みつきになります。そこで、安心して中古カメラとつきあえるためのノウハウとその面白さを「カメラのキタムラ」で中古カメラのエキスパートとして名を馳せている水野年成店長(新潟市とやの店)に聞いてみました。

中古を求める人は千差万別

います。また、鑑定も慣れてくると、さほど難しいものではありません。店員に遠慮なく相談して、疑問に思ったことは納得のいくまで聞くことが大事です。また、目的を持って商品を探すのもポイントです。例えば明るいレンズのものがほしいとか、主に何を撮影するのかなどが明確になれば、店としても希望に添えるように探すことができます。

中古品の簡単用語

新品同様……カメラならば、フィルムをほとんど通していない状態で、使用説明書、化粧箱もあり、ほぼ新品と見てよい商品。

新古品……フィルムを何本(100本以下)か通した状態で、化粧箱などはないが、新品同様に近い状態。

美品……フィルムはかなり使用しているが、外見にはまったく問題のない状態。大事に扱われていた商品。

良品……少しの傷、スリ傷などがあるものの、メーターや作動部分が正常な状態。撮影にはまったく支障のない商品。

現状渡し……店の一応の点検はしているものの、検査を徹底的に行っていない商品。例えば、メーターのフレが若干おかしいなどがある商品。

※カメラのキタムラでは保証対象品ではあるが、例えの「メーターのフレがおかしい」を特記事項として記入し、その部分の保証を除外している。

ジャンク……検査もなく、店では責任を持っていない商品。



OUR WORLD

不毛の地にも、豊潤な美があった。カリフォルニア州パナミント・デューンズ。
George Steinmetz / 1957年カリフォルニア生まれ。スタンフォード大学卒業後、写真家を目指す。風景写真、科学写真など広範な分野で創作活動を行う。現在は、ナショナル・ジオグラフィック誌を中心に活躍する。
撮影データ: シグマ28~70mm F2.8 EX、1/60秒、F11

ジョージ・シュタインメイツが世界を撮ったとき、手にしていたレンズはシグマだった。

NEW



砂漠は、時間や風によって、表情を多彩に変化させる。その瞬間の美をシグマが捉えた。ズーム全域で大口径F2.8の明るさを実現。2枚の非球面レンズ採用、撮影距離全域で高性能。最短撮影距離0.4mでフットワークも良好に。フォーカシングはフロントの回転がない直進式のため、遮光性能に優れた大型パーフェクトフードが装着可能で、偏光フィルターの使用も容易。

SIGMA Zoom Lenses

軽量でコンパクトなボディに、高性能を凝縮した大口径標準ズーム。

28-70mm F2.8 EX

●AF希望小売価格(税別): 65,000円、
ケース、パーフェクトフード付
ニコン、ミノルタ、ペンタックス用 発売中
シグマ用、キヤノン用 8/11 発売予定

お問い合わせは、株式会社シグマ 〒201-8630 東京都狛江市岩戸南2-3-15 tel.03(3480)1431まで。

中古カメラ特集

中古カメラフェアでは数ある中から選択ができ、便利ですが、ある程度の選眼力が必要になります。その点、お店が単独で行う中古セールは信頼度も高く、安心して目的の中古品を手にすることができます。また、カメラのキタムラのお客様の中には、毎日ウィンドーを覗きに來られる方もおられます。

目的の中古を探す方法

中古品は製造された時期によっては、すでに部品がなくて故障しても修理不能な機種があります。また、前のユーザーの使い方によって品質が大きく異なります。

その他、中古品の注意点

③マウンツの確認が重要
特にAFカメラは連動ピン、接点部分が摩耗したり曲がっていないかを確認します。カメラにセットして正常に作動するか、ガタがないか、絞りの羽に油が回っていないかをチェックします。

店の査定の仕方

現行機種を別にする、シルバーよりもブラックに人気が集まっています。これは新品の場合でも同様な傾向があるのと、マニュアル機全盛の頃は、まだブラックの生産数が少なく、希少価値が高いことも理由になっています。また、シルバーと比較してブラックの方が見た目が精悍で、プロ受けする色合いのためでしょう。

さらに、メーカーの製造30周年記念、創立50周年記念といったカメラは、限定で2,000〜3,000台ほどしか製造されているので、やはり希少価値が認められているでしょう。

ブラックや限定モデルが人気

店が中古カメラを買い取る(下取り)時の査定ポイント、まずなんととっても外観です。当たり前のことですが、いくら撮影に影響がないといっても傷があったのでは評価が下がります。

キタムラの売買安心システム

カメラのキタムラでは中古品についてまったく知識のない初心者であっても安心して購入できる独自のシステムを構築しています。

●6ヶ月の保証期間

中古の場合、何をしても心配なのが「故障」でしょう。キタムラならば、ご安心ください。中古カメラ、中古レンズに6ヶ月の保証期間がついています。また、修理不能の場合には「お買い上げ金額と同額の返金をもって保証にかえさせていただきます=保証の範囲は自然故障に限ります」と、お客様にとってはうれしい内容となっています。適用外などの詳細については店にお問い合わせください。

●全品を徹しくチェック

特別な現状渡しやジャンクのカメラ、レンズを除き、全品のチェックを行い、修理すべきところや交換が必要な部品はもちろん交換してあります。製品を渡した時点ですぐに使用可能な状態でお渡ししています。

●異常部分は値札に表示

問題の部分が合った場合には、値札に明記していますので、お客様には納得してご購入いただけます。

●クレジットでもご購入いただけます

中古品は現金だけと思っておられる方が多いようですが、キタムラでは4社の信販会社を擁しており、72回までの分割が可能です。また、ボーナス2回払いが金利なしの特典もあります。さらに各種ショッ

ングカードでもご購入いただけますので、お客様のご都合のよいお支払い方法がとれます。

●買い取り・下取り大歓迎

タンスや戸棚の奥に使われていないカメラやレンズがありません。不要になったり使用者不在のカメラが眠っていたら、カメラに活躍の場を与え、誰かに使っていただけたらいいでしょう。

また「カメラを購入しなければ下取りをしてもらえない」と思い込んではいませんか。ビデオやデジタルカメラなど、幅広く下取りできますので、商品を購入する際、お気軽にご持参ください。

●全店に中古品が分かる店員を配置しています

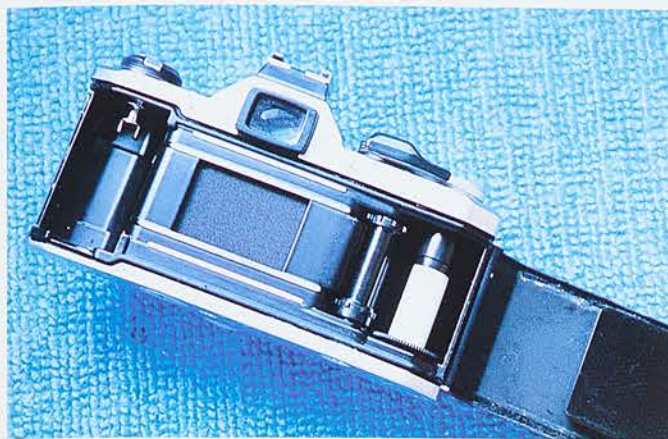
特殊な製品以外は全店に中古品を査定できる店員がおります。いつでも遠慮なくご相談ください。



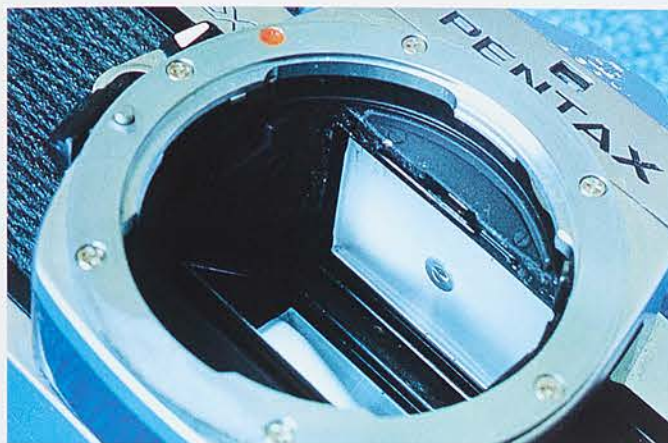
新潟市とやの店 水野年成店長

② レンズ内に異常はないか

レンズは内部の通気性を保つために隙間があつて、宿命的にゴミやホコリが入るようになっていきます。小さな部分的なゴミなどは写りにはほとんど影響を与えませんので、さほど気にする必要はありません。むしろ表面的な擦り傷はハレーションを起こす可能性が高く、避けた方が無難です。判断が難しいのはカビとクモリです。カビは購入後の保管状態にもよりますが、大きく広がる可能性がありまますので、店員に相談することをお勧めします。



レール部分に凸凹がないか、シャッター幕は正常かを確認。



ミラーにクモリやカビがないか、シャッターショックは正常か。



レンズをセットしてガタがないかを確認。

判断が難しいレンズ内のカビ

レンズは高価なものほど中古で購入するの有利です。新品との価格差が大きく、安価でハイレベルな写真が楽しめます。それに対して低価格のレンズは新品と中古との価格差が僅かです。

①ヘリコイド部分を回して確認
ピント、ズームリングの部分を回転させて、硬すぎず、柔らかすぎず、ムラなくスムーズに動けば問題ありません。

①外観から落下していないかの確認
落下したカメラはどこかに大きな欠陥がある場合が多く、原則的には購入しないほうが無難です。落下していても最近のカメラはプラスチック系が多く使われている関係で、外装にくぼみが出ないことがあります。くぼみも含め、ヒビ割れがないかを確認します。また、スリ傷、カメラの底のヘコミ、三脚

レンズを装着してスムーズに作動することを確認しましょう

カメラボディのチェックポイントを具体的に列挙してみます。

②メカニカルシャッターと電子シャッターの確認
メカニカルカメラではシャッターの故障が多いので、低速から高速まで全段階でチェックするようにしましょう。次にスローシャッターにして同じシャッタースピードで何回か押してみ、スピードが同じか、音が一定しているか、感度に粘りはないかを確認します。

④フィルム室の確認
フィルムが接触するレール部分の摩耗状態を見ますと、何本くらいフィルムが使われたかがわかります。一般の方ではちよつと難しいでしょうが、地金が出てくるような場合は避けるべきでしょう。圧着板の平行性、スリ傷も点検しましょう。

③ファインダー内の確認
撮影機能にはあまり影響はありませんが、カビ、ゴミ、くもりをチェックします。カビがひどいと焦点や被写体が見にくくなって撮影にも影響を与えます。

⑤全体的な作動
カメラのボディだけを購入する場合でも、実際にレンズをセットしてみても正常に作動するか、ガタがないかの確認を忘れないようにしてください。



ピント、ズームのヘリコイドの操作はスムーズか。



イクシを着よう。もつと。

世界最小3倍ズーム「イクシ330」が新登場。
ますます選べるカードサイズ。

持っているだけでワクワクする。自由気ままにレンズを向けたい。イクシは、超コンパクト&スタイリッシュなAPSカメラ。どんなファッションにも、どんなシーンにも、センスよくフィットします。そんなイクシに、3倍ズーム&ハイスペックの「イクシ330」が加わりました。もっと写真を撮るために、お気に入りの1台を選んでください。



NEW IXY 330
●23-69mm²高画質3倍ズーム
●フィルム途中交換(MRC)機能
●薄型高効率のライトガイド
●ストロボ●充実の1X機能
メーカー希望小売価格 ¥60,000
(リモコン・ケース付、税別)

IXY
●APSカメラのベストセラー²²
●24-48mm⁴高画質2倍ズーム
●SUS316採用の高品位ボディ●ハイブリッドAF搭載
メーカー希望小売価格 ¥48,000
(リモコン・ケース付、税別)

IXY 310
●重さ125g・厚さ23.5mm²
の超軽量コンパクトボディ
●大口徑26mm^φF2.8レンズ
●シルバー/ブラックの2タイプ
メーカー希望小売価格 ¥37,000
(ケース付、税別)

カードサイズカメラ

Canon
IXY

●写真のネックストラップはオプションです。 ●1ズーム比3倍以上のカメラの中で「98年8月1日現在」 ●2 35ミリ判カメラ機軸で29-87mm。 ●3 '98年5月~'98年8月までのAPSカメラの中で(MRC機能) ●4 35ミリ判カメラ機軸で30-80mm。 ●5 グリップ部を除く ●6 35ミリ判カメラ機軸で32.5mm。 ●カメラをご希望の方は、〒108-8011東京都港区三田3-12-15 東京三田ビル キヤノン販売株式会社00-IXY部まで、ご連絡を。ご記入の上お申し込みください。 ●キヤノン販売ホームページ http://www.canon-sales.co.jp/ キヤノン株式会社・キヤノン販売株式会社

フォトライフ四季 ふれあい広場

読者の皆様から寄せられた、お便り&お写真をご紹介します。



飛行機の大好きな主人と息子、2人でつくった飛行機を飛ばしました。何回か飛ばした後は、やっぱり飛んでくれました。息子のうれしそうな顔。将来はパイロットかな？
楳田奈々子様(静岡県浜松市)



長崎のオランダ村に行ったときに、あまりにも綺麗なチューリップの花をスナップしましたので、送ります。
諫山 巖様(大分県日田市)



佐世保の東公園の上の方に相撲場があります。ここで毎年5月に少年たちの相撲大会が開かれます。頑張れ、チビッコたち。
松本鉄磨様(長崎県佐世保市)



げた箱にすいとあつた、おじいちゃんの下駄を隔平がうれしそうに履いて、春の祭りに参加した時のものです。
勝木澄枝様(福井県福井市)

※このコーナーに多数のご応募をいただき、ありがとうございました。今回はすべてのお便り・お写真をご紹介できませんでしたがご了承ください。なお、今号をもちまして「フォトライフ四季 ふれあい広場」のコーナーは終了させていただきます。

編集後記

今年もまた「全国秋の彩フォトコンテスト」の募集時期がやってまいりました。カメラのキタムラでは、審査員である竹内敏信先生のおっしゃるように、日本全国の自然を愛する心がたくさん集まることを願いながら、皆様のご応募を心よりお待ちしております。キタムラ店頭のパスター・チラシをご覧になり、ふるってご参加ください。また今号ではオリンパス光学に取材をお願いしまして、現代の先端技術を駆使したデジタルカメラの最前線を、また田中長徳先生には世界のカメラの歴史を背負った銘品ライカについてお伺いしました。新旧のカメラの話から、写真文化の広大な広がりが、少しでも皆様のもとにお届けできれば幸いです。ライカ、あるいはデジタルカメラにご興味があった方はお近くのカメラのキタムラに、お気軽にお問い合わせ、ご相談ください。今後もカメラのキタムラは皆様のお身近なものとなりますように、より一層の誌面の内容充実にも努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

プレゼントが当たる! クロスワードパズル

1	ナ	2	3	バ	4	イ	
		E					
5	マ					イ	
6	ク			7	ヤ	C	
			9	カ		ウ	
		10	サ	A	リ	B	
11	タ					12	ジ

- 〈ヨコのカギ〉
- プロポーションのいい女性をこう言います。
 - 地震を予知するといわれる魚。
 - 秋の味覚のひとつ。
 - イガに入ってます。
 - 人をさげすんだ言い方。
 - 「不運の○○○」など使います。
 - 投手が相手を0点に抑えること。
 - 「潜水艦」を英語で言うと?
 - は損気。
 - 父母の兄弟は自分の…。
- 〈タテのカギ〉
- ハギ、ススキ、クズなどは秋の○○○○。
 - 焼き物で有名な佐賀県の都市。
 - 猫の首に○○を付ける。
 - 映画「タイタニック」の主演俳優。
 - 大型のトンボの総称。
 - ホテルなどの待合室や喫茶室をこう言います。
 - 日本の伝統芸能のひとつです。
 - 「太陽」も「息子」も英語にすると…。

問題: クロスワードに答えて、A~Eのマスの方をすたなくある言葉になります。その答えとあなたの住所・氏名・年齢・職業をハギに書いてご応募ください。正解者の中から抽選で30名の方に、粗品を進呈いたします。

あて先: 〒222-0033 横浜市港北区新横浜2-4-1
カメラのキタムラ「フォトライフ四季 クロスワードパズル」係
締め切り: 11月30日(当日消印有効)

答え=○○○○○
(ヒント: 学生時代、楽しんだナァ。)

クロスワードパズル(Vol.24) 解答とご当選者 解答:「チューリップ」
佐伯和恵(北海道)、草野州博(北海道)、平塚節子(北海道)、高山定文(北海道)、村上絹子(岩手県)、岸本育子(東京都)、富松章子(神奈川県)、今井三郎(岐阜県)、加藤博良(三重県)、南洋子(奈良県)、川崎全敏(大阪府)、折橋健一(兵庫県)、春木啓示(兵庫県)、戸田章男(岡山県)、上原信男(岡山県)、土井小百合(島根県)、吉永英治(山口県)、松田みゆき(徳島県)、島村泰史(徳島県)、速水淳(徳島県)、藤石陽一(香川県)、山本利幸(高知県)、長崎喜久代(高知県)、片岡真夕(愛媛県)、東田正志(福岡県)、新聞百広(福岡県)、山崎朋子(福岡県)、柳原武仁(長崎県)、朝長優(長崎県) 敬称略

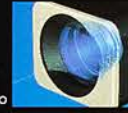


写りに驚く。
小ささに驚く。



原寸大

- ◎手のひらにおさまる、世界最小サイズ。
- ◎高品位チタンの、しっとりした触感。
- ◎高性能デジタルプログラム(DP)ストロボ。
- ◎先進のフィルム途中交換 (MRC)機能を搭載。
- ◎高画質24mmスーパーEBCフジノンレンズ。



NEW

EPION 高画質・チタンボディ
TIARAix

世界最小APSカメラ エピオン1000 MRC [ティアラix] TITANIUM



メーカー希望小売価格(消費税別) **50,000円**
別売り 特製本革ケース 3,000円
別売り 特製チェーンストラップ 1,500円

カメラのキタムラ発行
〒221-3333 横浜市港北区新横浜2-4-1
TEL 045-476-0777

フォトライフ 四季 Vol.26 AUTUMN

平成10年9月11日発行 季刊第26号

*コンパクトカメラ比較('98年5月現在) ※「メーカー希望小売価格」は消費税抜きの価格で、ご購入の際には消費税が加算されます。また価格はご購入の際の目安となるものです。 ※フィルム途中交換(MRC)機能は、MID ROLL CHANGE(ミッドロールチェンジ)の略称です。 ※APS規格に準拠したカメラであれば、MRC機能付きカメラ間との互換性はあります。